国立国語研究所学術情報リポジトリ

The Educational Film Series for the Japanese Language : Basic Level : Teacher's Manual Unit 1

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003123

16㎜フィルム／ビデオテープ

日本語教育映画 基礎編

教師用マニュアル

ユニット 1 （第1巻～第5巻）

国立国語研究所

前書き

この「日本語教育映画基礎編　教師用マニュアル」は、「日本語教育映画基礎編」を効果的に利用するための教授者用手引書として作成しました。

「日本語教育映画基礎編」は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための初級用映像教材で、1巻5分から8分の作品30巻で構成されています。各巻、独立した学習内容と主題を持っているので、日本語の授業で教科書と併用する副教材として個別的に利用することもできますが、また基礎的日本語能力を実践的に身につけるための教材として、系列的に順次利用することも可能です。

このマニュアルは、映画各巻の学習内容と主題について簡潔に解説し、ユニット（映画5巻分）単位でまとめました。日本語教育映画を効果的に利用するための一助になれば幸いです。

昭和59年11月

国立国語研究所長

野 元 菊 雄

日本語教育映画 基礎編 学習項目表

	題名及び副題	主要学習項目	その他の学習項目
1	これは かえるです —「こそあど」+「～は～です」—	1．「こそあど」の用法 2．～は～です	1．～をください
2	さいふは どこにありますか —「こそあど」+「～がある」—	1．「こそあど」の復習 2．～があります 3．「は」と「が」の違いの導入	1．～は？ 2．～です 3．います
3	やすくないです、たかいです —形容詞—	1．形容詞の意味・用法	1．よ、ね 2．青い色の
4	きりんは どこにいますか —「いる」「ある」—	1．います、あります 2．だれか/だれも、何か/何も	1．慣用表現 よろしくお願いします etc.
5	なにを しましたか —動 詞—	1．基本的な動詞の意味・用法 2．～ます/ました 3．対象語(目的語)、時、場所の言い方	1．～時、～時間
6	しずかな こうえんで —形容動詞—	1．形容動詞の意味・用法	1．慣用表現 もっといかがですか etc. 2．ね
7	さあ、かぞえましょう —助数詞—	1．助数詞	
8	どちらが すきですか —比較・程度の表現—	1．比較・程度の表現 2．～は～がじょうず/へたです ～は～がすき/きらいです 3．～は～ができます 4．～は～が～	1．～は～がほしい/～たい (cf 18) 2．どちら/どれ/どんな/どの 3．こちら/こっち
9	かまくらを あるきます —移動の表現—	1．移動に関わる動詞 2．～ませんか ～ましょう } (cf 13)	
10	もみじが とても きれいでした —です、でした、でしょう—	1．～です/でした/でしょう 2．～だ/だった(待遇表現) 3．～に行く/来る (cf 14)	1．～のです(cf 12) 2．ごろ、ぐらい 3．～月、～日、期間 4．時の表現
11	きょうは あめが ふっています —して、している、していた—	1．「～て」形の導入 2．～ている、～ていた	1．数・量の言い方 5分、三人etc. 2．二人称の○○さん 3．～とも、～でも 4．前後関係 まず、それからetc.
12	そうじは してありますか —してある、しておく、 してしまう—	1．～てある 2．～ておく (cf 21) 3．～てしまう	1．～のです 2．会話の始動・展開・終結の語 3．あいさつなどの慣用表現 いってらっしゃい etc.
13	おみまいに いきませんか —依頼・勧誘の表現—	1．～をください ～て ～てください ～てくださいませんか ～ませんか ～ましょう } (cf 9) ～ないでください	1．～てもいい 2．～てはいけない 3．～なくてはいけない ～なければいけない 4．～てみる (cf 17) 5．「で」の用法 6．～なんです 7．数・量の言い方 8．発話の起こし(文の接続)
14	なみのおとが きこえてきます —「いく」「くる」—	1．行く/来る 2．～ていく/くる	1．動詞による連体修飾
15	うつくしいさらに なりました —「なる」「する」—	1．「なる」「する」の意味・用法	

	題名及び副題	主要学習項目	その他の学習項目
16	みずうみのえを　かいたことが ありますか —経験・予定の表現—	1．することがある 2．したことがある 3．することにする 4．することになる	1．～たり、～たりする
17	あのいわまで　およげますか —可能の表現—	1．可能動詞 　することができる 2．可能動詞＋ようになる	1．～やすい/にくい/すぎる 2．～といい 3．～ながら 4．～てみる（cf 13）
18	よみせを　みに　いきたいです —意志・希望の表現—	1．するつもりだ 　～(よ)うと思っている 2．～たい/たがる 　ほしい/ほしがる 3．する/している/したところだ 4．したばかりだ	1．材料「で」（～でできている）
19	てんきが　いいから さんぽをしましょう —原因・理由の表現—	1．～から、～ましょう/～ませんか/～てください 2．～ので、～ 3．～て、～(理由) 4．～らしい 　～ようだ	1．名詞句化の「の」 2．存在・非存在の「ある」「ない」 　時間がある etc. 3．～てから～ 4．ずいぶん、せっかく、 　すっかり　etc.
20	さくらが　きれいだそうです —伝聞・様態の表現—	1．～そうだ（伝聞） 2．～そうだ（様能） 3．～ようだ（推定） 　～らしい（推定）	1．かしら 2．たしかに、どうやら、 　とにかく　etc.
21	おけいこを　みに　いっても いいですか —許可・禁止の表現—	1．～てもいい/かまわない 2．～なくてもいい 3．～てはいけない 4．～なければいけない/ならない 5．～なくてはいけない （cf 13） 6．～したほうがいい 7．～するようにしてください	1．～する前に、～してから 2．～ておく（cf 12）
22	あそこに　のぼれば うみがみえます —条件の表現1—	1．～と、～ 2．～ば、～ 3．～たら、～ 4．～なら、～	
23	いえが　たくさんあるのに とてもしずかです —条件の表現2—	1．～ても、～ 2．～のに、～ 3．～けれども、～ 4．～にもかかわらず、～	1．～まま
24	おかねを　とられました —受身の表現1—	1．受身の表現（他動詞を中心に）	1．～と、～した 2．～(よ)うとする
25	あめに　ふられて　こまりました —受身の表現2—	1．受身の表現（自動詞を中心に）	1．～し、～し、～ 2．～たびに
26	このきっぷを　あげます —やり・もらいの表現1—	1．やる/もらう/くれる	慣用的表現
27	にもつを　もって　もらいました —やり・もらいの表現2—	1．～てやる/もらう/くれる	慣用的表現
28	てつだいを　させました —使役の表現—	1．使役の表現 　（～てもらう） 2．使役受身の表現	慣用的表現
29	よく　いらっしゃいました —待遇表現1—	1．敬語	慣用的表現
30	せんせいを　おたずねします —待遇表現2—	1．敬語	慣用的表現

目次

日本語教育映画基礎編 教師用マニュアル

ユニット1

前書き …… 1
学習項目表 …… 2
この本の構成と使い方 …… 5

第1巻　これは かえるです　―「こそあど」＋「～は～です」―

目的・構成 …… 7
学習項目 …… 8
「こそあど」の用法　「～は～です」「の」の用法」「～をください」
「ありがとう」「どうも」、「どうぞ」
使用にあたって …… 15
シナリオに沿って …… 16

第2巻　さいふは どこにありますか　―「こそあど」＋「～がある」―

目的・構成 …… 25
学習項目 …… 26
「～に～がある」「～は～にある」「は」と「が」「こそあど」の復習
「～は～です」「～は？」「～です」「～は～にいる」
練習のための語彙表現リスト
使用にあたって …… 31
シナリオに沿って …… 32

第3巻　やすくないです、たかいです　― 形容詞 ―

目的・構成 …… 43
学習項目 …… 44
形容詞　「～はありませんか」
終助詞「ね」「よ」
使用にあたって …… 48
シナリオに沿って …… 49

第4巻　きりんは どこにいますか　―「いる」「ある」―

目的・構成 …… 57
学習項目 …… 58
「～は～にある」と「～に～がある」「ある」と「いる」「いませんか／
ありませんか」「何か／何も」と「だれか／だれも」
使用にあたって …… 60
シナリオに沿って …… 61

第5巻　なにを しましたか　― 動詞 ―

目的・構成 …… 69
学習項目 …… 70
動詞と「ます」形　動詞の用法　この映画で取り上げた動詞　助詞　時の表現
使用にあたって …… 76
シナリオに沿って …… 77

映画およびこの本の作成関係者 …… 88

この本の構成と使い方

映像教材には、中心学習項目のほかに、さまざまな内容がふくまれています。授業に使用するにあたっては、制作者が意図してとり入れた要素もまたそうでない要素も、できる限り細かい検討を行ってから利用計画を立てるのが望ましいことです。事前に知っておくべき内容を教授者が確認し、自分のものにするために、このマニュアルでは、どのような種類の情報が教材のどの部分に出現するか、そしてその情報をどう理解し指導に役立てたらよいか、ということを中心に編集してあります。

以下、このマニュアルの構成を追って、編集方針と使い方を述べていきます。

目的・構成——映画の全体像、内容の把握

各巻の最初のページに、その巻の主要学習項目、ストーリーの流れ、学習項目の出現のようすを表にして示しました。各巻のこのページだけに目を通していくことによって、映画全体の内容把握、また授業計画の作成の参考になります。なお、表の「カウント」と記した空欄は、テープカウンターの数値を書き入れるためのものです。

学習項目——文法・文型の整理

この映画は、各巻ごとに表現文型を中心にまとめてあります。主要学習項目で、その巻で取り上げた文法・文型の基本的な意味・用法を、日本語教育の観点から解説しました。その巻を授業で扱うにあたって、文法知識の再確認のために利用できます。

シナリオに沿って——「語彙」「文法」など項目別に配列

ページの上部にシナリオを提示して、その内容に関する情報や解説を同じページ内に示しました。なるべく他の分冊や他のページを参照することなくそのページだけで必要な情報が得られるように配慮しました。そのため、同じような解説が重複して現れることをあえて許容しています。

全体を「語彙・表現」「文法」「留意点」「生活・文化」の四つの項目にわけてその順に配列し、個々の事項をさがし出しやすくしました。また、ひとつの項目、たとえば「文法」だけをページを追って通読することにより、短時間でその項目についての全体像をつかむということもできます。

以下、四つの項目について述べます。

■語彙・表現

教授者として知っておくべき語句の意味用法と、学習者に与える説明というふたつの観点から、語彙を取り上げました。おもにシナリオに現れた用例について簡

単な語釈を与え、また類似語・関連語のあいだでの意味・用法の異同についても扱っています。対語は「↔」を、その他の関連語は「→」を付して示しました。さらに、映像には出現するが、せりふには現れない語を「映像⇨」という印をつけてまとめました。慣用表現などについても取り上げました。

■文法

せりふとして出現したそれぞれの文は、場面や文脈など多くの要素との関連で形式や意味内容が成り立っています。ここでは「学習項目」で述べた文法知識を前提とし、シナリオの文脈を参照しながら、主要学習項目やその他の文法的な事項がどう運用されているか、解説してあります。

■留意点

「文と文、発話と発話のつながり」といった、談話レベルでシナリオをとらえ、その規則や注意すべき点を解説しました。また日本的なコミュニケーションのしかたに関する注意など、文法だけに着目していては見すごしがちなものも取り上げ、さらに談話関係に限らず授業にあたって注意しておいたほうがよいことがあれば言及しました。

■生活・文化

日本文化や日本事情に関する知識は、日本で生活したり日本人と接するときに役立つものと考えられます。また、練習の題材として、あるいは学習動機を高めるための素材として教室内で取り上げる必要もあります。ここでは生活・文化についてなるべく具体的に説明を加えました。

使用にあたって

以上のほか、巻によってはこの欄を設け、「効果的な使い方」、「練習帳について」の各内容を取り上げています。このうち「練習帳について」は、このマニュアルとは別に刊行している「日本語教育映画　基礎編　練習帳」を授業や自習で使うにあたっての注意点と使い方を述べたものです。また、「トピック」という標題で、おもに生活・文化情報などについて補足説明をした巻もあります。海外の教室などで、特に日本事情の具体的データが不足するようなときに利用できると思います。

注　意

このマニュアルは、映画にふくまれる各種情報についての客観資料を提供することを主目的としています。このマニュアルが指導上の教案に代わるものではありませんので、解説した内容のすべてを直接学習者に与えようをすると不適当な場合が生じます。個々の指導目標や学習段階に即して重要度を吟味したうえで、利用できる情報を取り上げるようにしてください。

第1巻 これは かえるです

—「こそあど」+「～は～です」—

目的・構成

1 目的

この映画は、「こそあど」の基本的な用法を導入し、それとの組み合わせで、「～は～です」の文型を学習することを目的としている。ほかに、簡単な買い物の場面をとおして、「～をください」の言い方にもふれている。

2 構成

ストーリーは、ひとりの旅行者を追って進展する。飛行場の税関、タクシーの中、ホテルのロビー・売店と、実際の場面を舞台にして、「こそあど」の遠近感を話者、事物の関係で具体的に理解しやすいようにしている。

	場面	文	ストーリー	学習内容	カウント
I	空港滑走路		飛行機が空港に到着。		
II	税関で	①～㉑	坂本が税関で荷物のチェックを受ける。	これ／それ／あれ ～は（も）～ですか。 ～は～です。／～の ～は～ではありません。	
III	タクシーの中で	㉒～㉘	坂本がタクシーの窓から見える建物について尋ねる。	どれ／あの そうですか。	
IV	ホテルのロビーで	㉙～㊷	坂本のかばんの所在について坂本とボーイが話す。 ホテル内の食堂・売店の所在について話す。	ここ／そこ／あそこ／どこ	
V	ホテルの売店で	㊸～㊺	坂本が売店で絵はがき・地図を買う。	この いくら ください/ありがとう	

学習項目

1　主要学習項目

❶　「こそあど」の用法

「これ、それ、あれ」は事物を、「ここ、そこ、あそこ」は場所を、「こちら、そちら、あちら」は方向を指し、また「この、その、あの」は名詞を修飾し、「こんなに、そんなに、あんなに」「こう、そう、ああ」などは連用修飾語として用いられる。これらは、一括して指示語ととらえることができる。これに不定の対象を示すものとして、「どれ、どこ、どちら、どの、どんなに、どう」などがあり、これらを加えて、「こそあど」の体系となる。日本語教育では、初級のかなり早い段階で導入される事項であり、この日本語教育映画でも全30巻の初めに取り上げられている。また、この第1巻以外でも、第2巻「さいふはどこにありますか」、第4巻「きりんはどこにいますか」、第8巻「どちらがすきですか」などで「こそあど」が繰り返し取り上げられている。

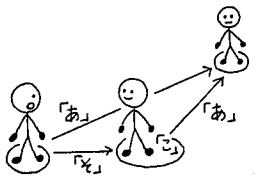
「こそあ」が実際の場面の事物を指す用法では、「こ」は一般に、「近称」、「そ」は「中称」、「あ」は「遠称」であるとされるが、これは絶対的な領域を表すものではなく、話し手と聞き手の間の相対的領域としてとらえられるものである。さらに、「こそあ」には文脈指示の用法があり、文の中にあらわれた「事柄」を指示したり、「時」を指示したりする。「事物」の指示に関する用法は、初級のかなり早い段階で導入され、教える側も十分な注意をはらって指導するのであるが、「事柄」「時」などを指示する文脈指示の用法に関しては、概して学習がおろそかになりがちである。しかし注意してみると、これらの用法も初級段階でたびたび登場してくるのである。「それはたいへんでしたね。」「これからします。」「その前に電話をかけます。」などの「こそあ」がそれである。したがって、「こそあ」の用法は、まず「事物」の指示を基本とし、その概念を発展させていく指導が必要であろう。なお、文脈指示を含む「こそあ」の用法については、おもに第23巻、25巻を参照。

この映画では、「こそあ」の基本である「事物」の指示のみを取り上げて学習するようになっている。「事物」の指示の用法では、話し手と聞き手の位置関係もポイントとなるが、映画では、いろいろな場面が設定されているので、学習者の理解を深めるのに役にたつだろう。次に映画に基づいて「こそあど」について述べる。

場面IIでは空港の税関のカウンターで、坂本と税関吏の会話がなされるが、この場面でふたりの位置関係は固定している。こうした位置関係では、話し手の領域に属するものについては「こ」で表し、聞き手の領域に属するものについては「そ」で表し、共有空間から離れた事物については「あ」で表すことができる。

税関の人　②　これは何ですか。

坂　　本　③　それは人形です。



この場面では、「物」は税関吏の領域(手の中)にある。

税関の人　⑨　それは何ですか。

坂　　本　⑩　これは時計です。

この場面では「物」は坂本の領域(手の中)にあるので、税関吏は「それ」で指示したのである。

税関の人　⑳　あれもあなたの荷物ですか。

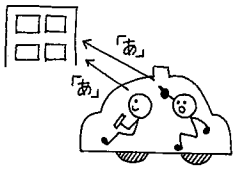
坂　　本　㉑　いいえ、あれはわたしの荷物ではありません。

ここでは、税関吏が指し示した「もの」は、ふたりの共有領域外にある。したがって、それはふたりにとって「あれ」となるのである。

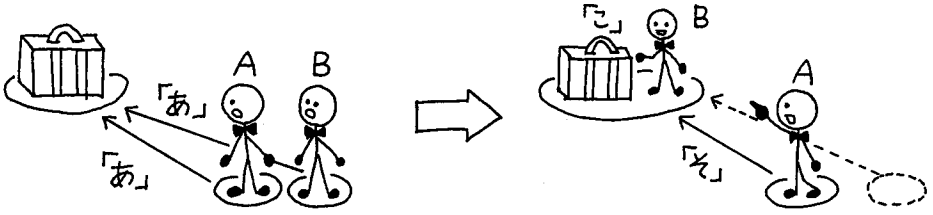
場面Ⅲはタクシーの中の運転手と坂本の会話である。ここにおいてもふたりの位置関係は固定的である。この場面での話題は、タクシーの車窓から遠くに見える建造物についてなので、指示はすべて「あ」でなされることになる。この場面で初めて「あの～」の形が提示される。

坂　本　㉗　あの建物は学校ですか、病院ですか。

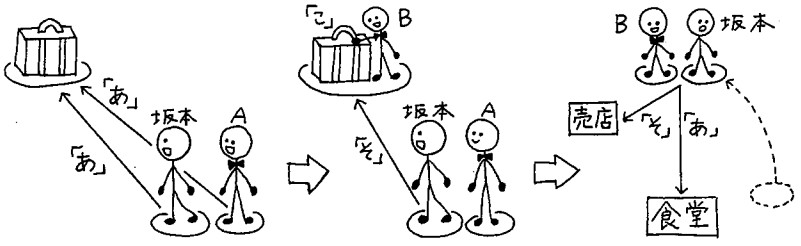
運転手　㉘　あれは病院です。



場面ⅣはホテルのロビーでのボーイＸとボーイＹの対話、さらにボーイと坂本の会話である。初めのボーイＸとボーイＹとの対話において、ふたりの位置関係はボーイＹの移動によって次のように変化する。



次に坂本が登場する。それぞれの位置関係は次のようである。



坂本とボーイＸの対話　　坂本とボーイＹの対話

場面Vは、ホテルの売点での坂本と店員の対話である。ふたりの位置関係はほぼ固定的である。

坂　本 ㊸ これはいくらですか。

女店員 ㊹ それは50円です。

場面IIの税関場面とよく似た場面設定なので、ここで「こそあど」の復習ができるだろう。

坂　本 ㊸ あれは地図ですね。

女店員 ㊹ どれですか。

坂　本 ㊺ あれです。

女店員 ㊻ はい、これは地図です。

ここにおいては、初めの㊸㊹㊺ではふたりは同じ領域に位置し、その共有領域外の「地図」に対して「あれ」を用いていたが、そののち女店員が「地図」に手をのばし、それを取り上げてふたりの共有領域内にもちこんだため㊻のような表現となったのである。ここでは、地図は両者にとって「こ」で指示される。次にふたりは、地図を広げ、建物などの位置を地図上に捜すことに移っていくが、地図上に指先で指し示す点は「こ」で表される。それを少し離れた所から、相手が指し示す点をみれば「そ」になる。

坂　本 ㊼ このホテルはどこですか。

女店員 ㊽ ここです。

㊼の「このホテル」という表現は、坂本・女店員が今いるホテルのことだから、両者にとって「こ」である。初級学習者はときとして「こ」に対して「そ」と「そ」に対して「こ」と機械的に変換して答えがちなので注意を要する。

不定称については、「こそあ」の体系の中で覚えさせるのが望ましい。

次に「こそあど」の指示語を一覧表にする。数字はこの映画の中での頻度数である。

	コ　系	ソ　系	ア　系	ド　系	品　詞
事物	これ　13	それ　9	あれ　8	どれ　3	代名詞
場所	ここ　4	そこ　2	あそこ　2	どこ　5	
方向	こちら　0	そちら　0	あちら　0	どちら　0	
	こっち　0	そっち　0	あっち　0	どっち　0	
指定	この　2	その　0	あの　2	どの　0	連体詞
状態	こんな　0	そんな　0	あんな　0	どんな　0	形容動詞
	こう　0	そう　0	ああ　0	どう　0	副　詞

最後に、この映画の中にでてくる「こそあど」に関する文型を列挙するので、この映画を使用する前に、学習者の既習文型と比べて検討してほしい。

○ これ／それ／あれ | は／も | 〜／何／わたしの〜／150円／いくら | です／か

○ あの〜は | 〜／何 | です／か

○ （〜は） どの〜 で す か

○ 〜／わたしの〜 | は | これ／それ／あれ／どれ | です／か

○ 〜／わたしの〜 | は | ここ／そこ／あそこ／どこ | です／か

○ これ／この〜 | を／も | ください

○ ここ／そこ | は 〜 です

○ これ は どこ で す か （絵はがきを見ながら）

○ このホテルは どこ で す か （地図を見ながら）

❷ 「～は～です」

助動詞「です」は、主題(主語)の部分で示される事物について「～」であることを断定したり、また、属性を示すことを断定したり、解説したりするのに用いられる。日本語教育では、概して初級文型の第一にこの「～は～です」を取り上げることが多いが、「～」には「こそあ」の指示詞や人称代名詞を組み込むのがふつうである。

これ それ あれ	は	人形 時計 ⋮	です。	人形 時計 地図	は	これ それ あれ	です。
ここ そこ あそこ	は	病院 学校 ⋮	です。	ホテル 病院 学校	は	ここ そこ あそこ	です。
こちら そちら あちら	は	食堂 大学 ⋮	です。	売店 大学 ⋮	は	こちら そちら あちら	です。

わたし あなた この人 その人 あの人 坂本さん	は	坂　本（さん） 日本人 先　生 ボーイ 店　員 ⋮	です。

「～は～です」の否定の形は「～は～ではありません」で、説明要求・判断要求の言い方は「～は～ですか」である。「ですね」は、確認の表現である。

これは	人形	です。 ではありません。 ですか。 ですね。

選択疑問の言い方は、

これは [人形] ですか、[時計] ですか。

のようになる。

2　その他の学習項目

❶　「の」の用法

この映画の中では、格助詞「の」のいろいろな用法のうち、次の用法が導入できる。

(1)　所有主の規定

ものの所有主を規定する「の」の用法は、初級段階のかなり初めの時期に導入される。この映画の中でも次の用例がみられる。

場面II　⑳ あれもあなたの荷物ですか。
　　㉑ いいえ、あれはわたしの荷物ではありません。
　IV　㉙ 坂本さんのかばんはどれですか。
　　㉚ 坂本さんのかばんはあれです。
　　㊱ わたしのかばんはどこですか。

映画の中には現れないが、疑問の言い方として「どなたの（だれの）――ですか。」も忘れずに練習するとよい。加えて、名詞の略された（準体助詞としての）「の」（あれはわたしのです）も必要に応じて導入するとよい。

(2)　属性の規定

映画の中のせりふとしては直接現れないが、内容から発展させて、ものの属性の規定の「の」を学ぶことができる。

場面II　⑰ これは何ですか、ゴムですか、プラスチックですか。
　　⑱ それはゴムです。

⑰の「何」は、事物の材料・材質をきいているが、これを応用して、

⑰ これはゴムのかえるですか、プラスチックのかえるですか。
⑱ それはゴムのかえるです。

のように言うことができる。ほかに「木の」「ビニールの」「紙の」「石の」などを取り上げてもよいだろう。

(3)　その他

映画にでてきた場面を利用して、

タクシーの運転手
ホテルのロビー／売店
50円／100円の絵はがき

なども考えられよう。また、事物指定の「この」「その」「あの」の用法もあわせて学習すると効果的である。

このかばん
その坂本さんのかばん
あのゴムのかえる
この50円の絵はがき

❷ 「～をください」

この映画の中では、買い物の場面で、客が買いたいものを求める表現として使われている（場面Ⅴ）。もとの形は「くださる」（第25巻、26巻参照）で、「ください」はその命令形であるが、日常よく使われるものなので、文法的な説明抜きに、ひとつの表現として導入したほうがよい。

「～をください」はこの映画での用例のように、何かを買い求めるときに限らず、一般に人に何かを（話者に）くれることを要求する場合に使われる。

すみません。机の上の新聞を（こちらに）ください。

何か冷たいものをください。

また、対象物を追加して言う場合は、「～を」に代わって「～も」が用いられる（文 ㊹）。

「～をください」は、また「～てください」の学習の前提学習項目ともなっている。「～てください」は、動詞の「～て」形の導入がすめばすぐに学習したい表現価値の高い文型である。学習済みの動詞の数によるが、いちおうの基本的な依頼（意志の表明）が達成できることになる。「～てください」は、また動詞の音便形の修得練習にも利用できる。この映画では、第13巻「おみまいに　いきませんか」で「～てください」が取り扱われている。

❸ 「ありがとう」

「ありがとう」は、相手の行為に対して礼を言うときの表現である。丁寧に言うときには「ありがとうございます」となる。学習者としては「ございます」を付けて言えるようにしておいたほうがよい。どちらの形にも「どうも」を付けて丁寧に言うことができる。「ありがとう」の発展的学習には、次のようなものが考えられる。

「～(を)ありがとう」⟶おみやげ(を)ありがとう。

「～て、ありがとう」⟶いっしょに来てくれて、本当にありがとう。

送っていただいて、ありがとうございます。

「～は、ありがとう」⟶今日は、いろいろありがとう。

先日は、本当にありがとうございました。

学習者の学習段階や学習目的にあわせて、適宜取り上げたい。

❹ 「どうも」、「どうぞ」

似た感じの語なので、初級の導入段階では取り扱いに注意したい。「どうも」は、軽く礼を言う場合に、また簡単なあいさつとして、さまざまな場面に使われる便利な表現である。「どうぞ」は、相手に何か頼んだり、相手の行為を促したりする際に用いられるが、あいさつとしての「どうぞよろしくお願いします」がある。

使用にあたって

1　効果的な使い方

この映画は、映像をとおして言語場面内での「こそあ」の遠近感を、話者と事物の関係で、具体的・実際的に理解させることを目指している。限られた場面しか設定できない教室内に映像を持ちこむことで、より幅のある場面の設定が可能となる。そのためには、教授者は映画の内容について事前に知ることはもちろん、その映画を使って何が教えられるか、何を教えようとしているのかについてしっかり把握しておくことが大切である。ビデオテープの使用に限っていえば、この映画はいくつかの場面に区切り、学習内容の確認をしながらすすめることが望ましい。さらに可能ならば、教室内に同様な場面を設定し、練習をし、応用させるとよいだろう。

新しい語彙の与え方は、画面に現れるものについては、映像を見せながら提示するほうが、むしろ印象的な場合もあろう。また、画面に現れない語彙については、やはり事前に提示しておいたほうが、学習者にとってはより理解しやすくなる。しかし、なかにはストーリーの展開からや文脈の前後関係から理解させたほうがよいものもあろう。

2　練習帳について

練習帳は学習者のために作成されたもので、全部で8ページである。学習者が使用している主教材によって、文型提出の順序も異なり、既習語彙もさまざまであると思われるが、練習帳では、映画の中に出てきた語彙・表現を中心として、いちおう基本的と思われるものに限って取り上げてある。また、文型も、第1巻ということで、映画の中に出てきたものだけ用いている。しかし、教授者は学習者の学習段階に応じて、発展的に応用練習をすることが可能である。

第1、2ページは、映画の流れ・学習項目の確認であるので、場合によっては口頭で行ってもよいし、省略してもよい。第3、4、5ページ、問題⑥～⑭は、パターン練習とよばれるもので、これらも口頭で行ったほうが効果があるかもしれない。⑮～⑯は、学習項目の習得を確認するために、書かせてみたほうがよいと思われる。第7ページは、短い会話の練習で、できるかぎり自然な調子で言えるように指導し、暗記させたり、実際に立って演じさせるとよいだろう。キーワードをもっと自由にかえることもできる。第8ページは、ビデオを見ながら、あるいは、あらかじめ録音しておいたテープを聞きながら行う聞きとり練習である。テープを適宜とめながら書かせるとよい。その他、学習者がもう少し進んだ段階であるならば、映画のストーリーを再表現させたりすることもできるし、動詞文などを使って、質疑応答をすることもできるだろう。

シナリオに沿って

I	（せりふなし）
II	税関の人　①　どうぞ。 ②　これは何ですか。 坂　本　③　それは人形です。 税関の人　④　これは何ですか。 坂　本　⑤　それはたばこです。

■語彙・表現

人形　たばこ

どうぞ：1.相手にものを頼むときに使う。2.相手に物事をすすめたり、許可を与えたりするときに使う。この場合は2の用法。

映像 ⇨ 飛行機　着く　税関　箱

■文法

②これは何ですか。　③それは人形です。

②③は、「～ですか」「～です」という、この巻における最も典型的な文型である。税関の人は自分の手にしたものに対して「これ」を用い、坂本は相手の手にあるものに対して「それ」を用いている。

②何ですか。

「何」は、名称のわからない物・事や、正体のわからない物・事を指す語である。この場面では、包装紙に包まれた箱の中に入っている物についてきいている。

■留意点

場面Iは、飛行機が到着するところである。場面IIは導入として印象深い画面である。税関の場面では、「これ」「それ」の位置関係が理解しやすく示されているが、質問に対する答えの「人形」「たばこ」が、包装されたままで画面からはわからない。「たばこ」は免税品として最もポピュラーでもあり、音からも推察しやすいが、「人形」は音も聞きとりにくく、あらかじめ学習者に語彙を与えておいたほうがよいだろう。

II	税関の人	⑥ これもたばこですか。
	坂　本	⑦ いえ、たばこではありません。
		⑧ それはウイスキーです。
	税関の人	⑨ それは何ですか。
	坂　本	⑩ これは時計です。
	税関の人	⑪ はい。
		⑫ それも時計ですか。
	坂　本	⑬ いいえ、かえるです。

■語彙・表現

時計　かえる

いえ：否定の気持ちを表す「いいえ」の口語的表現。

ウイスキー：whisky.

はい：ここでは相手の発言内容を理解したという意味。

映像 ⇨ 紙袋　出す　見せる

■文法

⑥これもたばこですか。　⑦いえ、たばこではありません。

前ページ⑤「それはたばこです」をうけ、⑥では「も」を用いて質問している。答えは、肯定の場合は「はい、これもたばこです。」となるが、この場面のように否定の場合は、「いいえ（いえ）、これはたばこではありません。」となる。

⑬いいえ、かえるです。

前文⑫「それも時計ですか。」の否定的な答えであるが、⑥⑦⑧のような段階的な答えではなく、そのうちの⑦にあたる答えを省略している。

■留意点

この場面は前ページの場面に引き続き、税関吏と坂本の対話によって「これ、それ」の位置関係が明らかである。会話では、答えの部分で、主語が省略されている部分があるので、教室では確認のため全文言わせてもよい。同時に、教授者の取り扱える範囲で、実際の省略文の練習をしてもよい。

II	税関の人	⑭ え、かえる？
	坂　本	⑮ はい、これはおもちゃです。
	税関の人	⑯ ほう。
		⑰ これは何ですか、ゴムですか、プラスチックですか。
	坂　本	⑱ それはゴムです。
	税関の人	⑲ ほう。
		⑳ あれもあなたの荷物ですか。
	坂　本	㉑ いいえ、あれはわたしの荷物ではありません。

■語彙・表現

おもちゃ　ゴム　プラスチック　荷物

え：驚きを表す言葉。→(えっ、えー。) 相手の言ったことがわからなかったり、意表外であったりするときのきき返し表現。この言い方は、さまざまなバリエーションがあり、日本語では大事な表現である。

ほう：驚いたり、感心したりしたとき思わず発する。

あなた：**you**。事務的な関係の中で用いられていることに注意。

映像 ⇨ 驚く

■文法

⑮はい、これはおもちゃです。

全文を言うなら、「はい、これはおもちゃのかえるです。」となるところであるが、略してそう言う。さらに「これは」も省かれるのがふつう。

⑰これは何ですか、

この場合は前述の「何ですか、」と違い、「おもちゃのかえる」の材料・材質についてきいている。実際の会話では省いてもよいところである。

⑰ゴムですか、プラスチックですか。

「～か、～か」は選択を要求する質問である。答えには「はい、いいえ」は用いない。

⑳あれもあなたの荷物ですか。

税関吏・坂本の両者からみて離れた所にある物に「あれ」を用いている。

⑳あなたの荷物　㉑わたしの荷物

所有主を規定する「の」の用法。

■留意点

「おもちゃ」「ゴム」「プラスチック」の語彙をあらかじめ提示しておくとよい。

「あなた」は教室作業用語であるが、実際の「あなた」の用法や相手に言いおよぶ際の表現について、初級導入段階で取り上げるのはなかなか難しいところである。

III	坂　本	㉒ あれは何ですか。
	運転手	㉓ どれですか。
	坂　本	㉔ あの建物です。
	運転手	㉕ あれはホテルです。
	坂　本	㉖ ああ、そうですか。
		㉗ あの建物は学校ですか、病院ですか。
	運転手	㉘ あれは病院です。

■語彙・表現

建物　学校　病院

ホテル：西洋風の宿泊施設。日本風の旅館と違って、一般に部屋代だけで食事代は含まれていない。ただし、観光地などでは、旅館にはホテルという名称を用いることがある。

ああ、そうですか：相手の言ったことに対して了解の気持ちを表している。イントネーションは下降。

映像 ⇨ タクシー　運転手　ビルディング　高い

■文法

㉓どれですか。

走るタクシーの車窓からみえる三つ以上の建物の中から、坂本の質問した建物を指定させようとして用いている。二つの中から選ぶ場合は「どちら」を用いる。

㉔あの建物です。

坂本および運転手の両者から見て離れたところにある建物であるため「あ」で表し、名詞「建物」を修飾して「あの」を用いている。㉒「あれ」、㉓「どれ」をうけて、その内容を「あの建物」と指定している。

■留意点

話題となっているのは車窓からみえる「建物」であるため、「あれ」「あの～」が用いられている。難をいえば、画面からは、「あの建物」が明確に指定されていない。また、㉗の「あの建物」が「学校」か「病院」かのどちらかであることにも無理があり、外観からは何も決め手になる情報は得られない。したがって、教室ではこの点にあまりこだわらず進めたほうがよいと思われる。

■生活・文化

タクシー：「空車」の赤ランプをつけて路上を走っていたり、ホテル・駅などで客待ちしているタクシーには、手をあげ合図をして乗りこむ。電話で呼ぶこともできる。ふつう、掛け値や値引き交渉は考えられない。特に世話になったとき以外は、チップを渡すことは少ない。なお、電話注文専用の、高級車使用のものは「ハイヤー」。

Ⅳ	ボーイX　㉙ 坂本さんのかばんはどれですか。 ボーイY　㉚ 坂本さんのかばんはあれです。 ボーイX　㉛ これですか。 ボーイY　㉜ いいえ、ちがいます。 　　㉝ それです。 ボーイX　㉞ これですね。 ボーイY　㉟ ええ。

■語彙・表現

かばん：皮革や布などで作った、物を入れて運ぶための携帯用具。
いいえ、ちがいます：否定の意味を表す表現。
これですね：軽く確認するための「ね」。
ええ：「はい」の口語的表現。

映像 ⇨ ロビー　ボーイ　近づく

■文法

㉚坂本さんのかばんはあれです。

この時点では、「坂本さんのかばん」はボーイX、Y両者の共有領域外にあった。

㉛これですか。

ボーイXは㉚の答えを聞いたのち、ボーイYの指す方にある「坂本さんのかばん」と思われるかばんに歩みより、「これ」と表現したのである。

㉝それです。

ボーイXが「坂本さんのかばん」に近づいたため、㉚では「あれ」であった同一の物に対して、ボーイXの領域に属する物として「それ」を用いて表現している。

■留意点

場面IIでも場面IIIでも、対話をするふたりの位置関係は固定的であったが、この場面ではボーイXが移動していることに注意したい。人の動きにしたがって「こそあ」の用法に変化がおこることを学習者に正しく理解させるために有効な場面となろう。また「どれ」の用法の復習にもよい。

Ⅳ	坂　本	㊱ わたしのかばんはどこですか。
	ボーイY	㊲ はい、あそこです。
	坂　本	㊳ あ、そう。
	ボーイX	㊴ ここです。
	坂　本	㊵ 食堂はどこですか。
	ボーイY	㊶ 食堂はあそこです。
		㊷ 売店はそこです。

■語彙・表現

あ、そう：「ああ、そうですか。」のややぞんざいな言い方。

食堂：1.食事をするための部屋。2.食事を提供する店。→(レストラン)ここでは2。

売店：駅・病院・ホテル・劇場など大きな建物の中にあって、ちょっとした物を売る小さな店。

映像 ⇨ エレベーター　開く　のる　閉まる

■文法

㊱わたしのかばんはどこですか。

「どこ」は、ある物の所在をきく言い方。ホテルのロビーにある多くのかばんの中の自分のかばんの位置を尋ねたのであろう。この「～です」は「～にある」に置きかえられる。㊲、㊴、㊵、㊶、㊷の「です」も同様。(第2巻参照)

㊲はい、あそこです。

坂本はボーイYの近くへ来て質問したので、ふたりの共有領域外にある「かばん」の位置を「あそこ」を用いて答えている。

㊴ここです。

ボーイXは、すでに「坂本さんのかばん」の近くにいるため「ここ」という表現を用いている。

㊶食堂はあそこです。

場面はエレベーターの前である。坂本とボーイYは共通の領域に位置しているため、領域外の食堂は「あそこ」と表現される。

㊷売店はそこです。

この「そこ」は、これまでの相手の領域内に属する事物の位置を表している「そこ」ではなく、絶対的距離に基づいていると考えられる。坂本・ボーイYの両者からみて、前述の食堂よりは近い位置にあることを示しているとも考えられる。

■留意点

食堂：売店については映像による提示がないので絵カードなどによる補足説明がほしい。なお、ボーイに教えてもらった売店で、後ほど（場面Vで）坂本は地図や絵はがきを買う。

V	坂　本　㊸ これはいくらですか。 女店員　㊹ それは50円です。 坂　本　㊺ これも50円ですか。 女店員　㊻ それは100円です。 坂　本　㊼ ほう……。 　　㊽ これはどこですか。 女店員　㊾ 松島です。

■語彙・表現

いくら：物の値段を問う言い方。

円：通貨単位として制定されたのは1871年。現在、一般には一万、五千、千、五百円の紙幣と五百、百、五十、十、五、一円の硬貨が流通。

映像 ⇨ 売店　店員　絵はがき

■文法

㊸これはいくらですか。

坂本は手にした絵はがきを指して「これ」を用いている。

㊹それは50円です。

㊸に対して女店員は、相手の領域に属する物として「それ」を用いている。

㊽これはどこですか。

坂本は絵はがきの風景を指しながら質問している場面である。この場合、「ここ」を用いることもできる。

■留意点

日本語教育映画全30巻の中で「買い物」の場面は何回となく登場するが、この場面はその中でも一番基本的なものであろう。教室では、絵はがきのほかにいろいろな物を使って練習をして、「こそあど」の定着をはかることができる。「松島」は外国人にとっての知名度はあまり高くないが、日本地図などを用いて位置を教え、適当に補足説明をするとよい。また学習者のすでに知っている地名（日本の／母国の）を用いて練習するとよい。

■生活・文化

買物：電機店、カメラ店、顔見知りの個人商店などでは値引き交渉をするときがあるが、ふつうは標示されたとおりの代価を払う。とくにデパート、スーパーマーケット、ホテルの売店などではそうである。

松島：宮城県仙台湾中央部にある景勝地。日本三景のひとつで県立自然公園。波の浸食による海食地形で、奇岩・怪石からなる260あまりの島々とそれをおおう松の緑と静かな海面の景観はすばらしい。

V	坂　本　㊿ ああ、そうですか。 　　㊿① これをください。 女店員　㊿② ありがとうございます。 坂　本　㊿③ あれは地図ですね。 女店員　㊿④ どれですか。 坂　本　㊿⑤ あれです。 女店員　㊿⑥ はい、これは地図です。

■語彙・表現

ありがとうございます：感謝の気持ちを表す言葉。前に「どうも」を付けるとより丁寧になる。㊸㊺参照。

地図：国内のものは、国土地理院発行の地形図や、それを参考にまとめた各種縮尺のものが売られている。観光用の絵地図（第9、10巻参照）や、道順を示すメモ（第22巻参照）も地図にふくまれる。世界地図は、各国の習慣にしたがって、自国を中心においた（日本では大西洋で地球を切り開いた）形のものがふつうである。

■文法

㊿①これをください。

「～をください」は、ほかの人に何か物を渡してほしいときに用いる表現である。ここでは、物を買うときの表現として扱い、十分に練習するとよい。

㊿⑥はい、これは地図です。

㊿③、㊿④で坂本が「あれ」と指した「地図」を女店員は手に取り、坂本のいるショー・ケースの所に戻り、「これ」と表現した。

■留意点

坂本と女店員の位置関係から「こそあど」の復習をすることができる。位置の移動による指示の変化に特に注意するとよい。

■生活・文化

売り手と買い手の関係は、年齢や社会的地位の差（例：商店主対学生の客）よりも優先して、売り手側がへりくだって丁寧な態度をとることが多い。

V	坂　本　㊼ このホテルはどこですか。 女店員　㊽ ここです。 坂　本　㊾ 大学はどこですか。 女店員　㊿ ええ……、ここです。 坂　本　(61) ここも大学ですか。 女店員　(62) いいえ、そこは公園です。 坂　本　(63) どうもありがとう。 　　(64) この地図もください。 女店員　(65) どうもありがとうございます。

■語彙・表現

大学　公園（第6巻「しずかな　こうえんで」参照）

どうもありがとう：前ページ(52)に比べるとやや丁寧さを欠くが、客がいろいろ教えてもらった女店員に対して言う場面としては適当である。それに対し、女店員が買い物をした客に対しては(65)を用いる。(65)は(52)よりさらに丁寧である。

■文法

(57)このホテルはどこですか。　(58)ここです。

ホテルは、坂本と女店員の両者が今いる場所なので「こ」で表す。この「～です」は、「～にある」におきかえられる。(59)、(60)も同様。第2巻参照。

(60)ええ……、ここです。

地図上に指先で示す点は「ここ」で表される。

(62)いいえ、そこは公園です。

相手が指先で指し示した点「ここ」を、少し離れて眺める立場からは「そこ」となる。

(64)この地図もください。

(51)で坂本は「松島」の絵はがきを買い求めたため、追加して買う地図は「も」を用いた。

■留意点

画面に映った地図からは、ホテルも大学も公園もわからない。教室では、簡単でわかりやすい地図などを作成するなどして用意し、練習することもできる。絵地図を用いるのもよい。

第2巻 さいふはどこにありますか

—「こそあど」+「～がある」—

目的・構成

1　目的

事物の存在を表す「～がある」の学習を中心にして、「～に～がある」「～は～にある」の文型の問題や、既習の「～は～です」の文型の用法の拡張、また「こそあど」の復習が学習内容である。

2　構成

この映画は、〔Ⅰ〕人に事物の存在場所を尋ねる問答、〔Ⅱ〕財布をなくした女子学生が同室の友人と室内をさがすやりとり、の二部分から構成される。

	文	場面	内　容	学習項目
Ⅰ－1	①～⑤	街角	女性→通行人（男性） 地下鉄の入り口	「～は（どこ）にあります（か）」 「～にあります」　—この
Ⅰ－2	⑥～⑮	たばこや	佐藤→たばこやのおばさん タクシー乗り場	「～は（どこ）です（か）」　—あの 「～に～があります」　—あそこ
Ⅰ－3	⑯～⑲	（大学） 正門前	佐藤→女子学生（栄子） 事務室	「～は（どこ）にあります（か）」 「～にあります」　—あの
	⑳～㉔	（大学） 廊下	佐藤→男子学生 事務室	「～は～です」（存在、断定） 「～に～があります」—この、その
	㉕～㉜	（大学） 喫煙室	佐藤→学生たち 田中先生・先生の研究室	「～は（どこ）にいます（か）」 「～は～です（か）」（存在、断定）
Ⅱ－1	㉝～㉟	寮の部室（1）	部室を出た栄子が財布のないことに気付き、引き返す。	「～に～があります（か）」 「～にはありません」
Ⅱ－2	㊱～㊴	寮の部室（2）	本のあたりをさがす栄子と友子。	「～は？」「～にはありません」 「～にもありません」
Ⅱ－3	㊵～㊹	寮の部室（3）	机の周辺をさがす栄子と友子。	「～は？」 「～にもありません」
Ⅱ－4	㊺～㊾	寮の部室（4）	机の横のくずかごを調べる。	「～は？」「です（か）」 「～にはありません」　—この
Ⅱ－5	㊿～55	寮の部室（5）	コートのポケットに入っている財布をみつける。	「～です」　—あそこ —ここ、この

学習項目

1　主要学習項目

❶「～に～がある」

「～がある」は事物の存在を表す表現である。これに、存在場所を表す助詞「に」にみちびかれる修飾部が加わって、「～に～がある」の文型が成立する。「～に」の部分には、場所を表す名詞、あるいは位置を表す名詞(「～の～に」の形で)がくる。❹（p.30）参照。

「～に～がある」の文型が用いられる状況の最も重要な条件は、事物やその存在場所が新しい情報、つまり文脈に初めて現れた、または事前に確定できない情報を述べる場合である。この映画では次の場面に現れる。

場面Ⅰ－2　⑩あそこにポストがありますね。

Ⅰ－3　㉑この廊下のつきあたりにエレベーターがあります。

質問文は　ⓐ「～に何がありますか」

ⓑ「～に～がありますか」

ⓒ「どこに～がありますか」

の三種類が考えられる。ⓐは最も一般的な質問の形式である。話者は自分にとって未知の情報、存在物は「何」か求めているのであるから、当然「～がある」の文型が用いられる。

ⓑは質問の受け手が、この発話の前提になる対象物を了解していない場合である。

場面Ⅱ－1　㉝友子さん、私の机の上に財布がありますか。

友子にとって、「机の上」も「財布」も、話者が「財布をさがしている」ことも、未知の事項である。しかし、この文は日常生活では、たぶん次のようにまず発話の前提として何が問題になっているかが提示されると思う。

「財布がみあたらないんですけど、私の机の上にありませんか。」

「歴史の本がほしいんですが、この辺に本屋ありますか。」

初歩の学生には、前提部分の文型もまだ導入されていないだろうし、助詞「が」の脱落の点についても正しく理解させることは困難であろう。自然な会話体よりも、まず基本的な文型を確実に身につけさせることが優先されなければなるまい。

ⓒは、ごく特殊な場面をのぞいて、日常生活にはほとんどでてこない。

「この絵の中に指輪がかくされています。どこに指輪がありますか」

一種のクイズのような状況の設定である。「きっとわからないでしょう」という含みがあって、話し手は聞き手に「～に指輪がある」という知識さえ、前提として認めないのである。

この映画で、「～がある」の文型の質問文が、㉝にひとつしか現れないのは、質問時に、相手に何の知識も前提として示さないことは考えられないからだろう。

❷ 「～は～にある」

「～は」で示される部分は、話し手、聞き手はすでに知っている事柄である。「～が」によって示される新しい情報に対して、古い情報という言葉で説明される。

部屋に机やベットやたんすなどがあります。(新しい情報)

机はまどのそばにあります。(「机」は前の文脈で示された古い情報)

「～はどこにありますか」は、事物の存在する場所を尋ねる最も一般的な方法のひとつである。「～はどこにありますか」の場合、話し手は、聞き手が当然「～」にあたる事物のあり場所を知っていると判断して、その人を聞き手に選んでいるのである。したがって、「どこにある」かあり場所を質問する文型は、「～は～にある」が用いられる。言葉をかえれば「は」には提題の機能があるといえる。

映画では次の場面に現れる。

場面Ⅰ－1　①地下鉄の入り口はどこにありますか。
　　③この先の右側にあります。
　Ⅰ－2　⑫あのポストの向こうにあります。
　Ⅰ－3　⑯事務室はどこにありますか。
　　⑰あの建物の中にあります。

「ある」は、ふつう「ます」形で導入される。

～に～が／～は～に　{あります。／ありません。
　　{ありました。／ありませんでした。

❸ 「は」と「が」

「は」には、もうひとつ、いわゆる「対比」の機能がある。

机の上に本はあります。(ほかの物はない。ほかの物は知らないが、の意を含む)

机の上には本があります。(ほかの対比される場所が前提としてある)

この映画で否定形にともなって現れる「は」は対比の機能である。ほかの場所を前提として、「ほかの場所にあるかどうかわからないが」という意味が含まれる。存在文の学習は、ごく初期に取り上げられると思うので、ここでは否定文に関連して現れる「は」の学習のみにとどめ、上記の例のような肯定文の「は」は、「しかし」の意味の接続詞「が」の導入のときに次のように同時に練習したほうが、理解がしやすいと思う。

机の上に本はありますが、ノートはありません。

映画に現れる対比の「は」は次のものである。

場面Ⅱ－1　㉟机の上にはありませんよ。
　Ⅱ－2　㊳机の下にはありません。
　Ⅱ－4　㊼この中にはありません。
　　㊽この辺にはありませんね。
　　㊾ええ、机のまわりにはありませんね。

❹ 「こそあど」の復習

第1巻「これはかえるです」では、事物指示「これ、それ、あれ、どれ」と、場所指示「ここ、そこ、あそこ、どこ」が積極的に取り上げられた。第2巻ではおもに名詞につづく型として「この、その、あの、どの」が多く現れる。

「こそあ」は、まず第一に、眼前の事物の指示に用いられる。

この映画に現れる「この、その、あの」型の指示語は次のとおりである。

場面Ⅰ－1　③この先の右側です。
Ⅰ－2　⑫あのポストのむこうにあります。
Ⅰ－3　⑰あの建物の中にあります。
Ⅰ－3　㉑この廊下のつきあたりにエレベーターがあります。
Ⅱ－4　㊼この中にはありません。
Ⅱ－4　㊽この辺にはありませんね。
Ⅱ－5　㊹このポケットの中ですよ。

③㉑㊽は、第1巻ですでに学習した「こ」対「そ」の対応ではなく「こ」対「こ」の対応である。話し手と聞き手が同じ位置にいるのである。

第2巻では、眼前事物の指示からさらにすすんで「文脈指示」の「こそあ」が現れる。これは、文脈・状況から何が指示されているか、聞き手に判断できるような場合の指示語である。

Ⅰ－3（㉑この廊下のつきあたりにエレベーターがあります）
㉒その隣の部屋です。
Ⅰ－3　㉜あの人はだれですか。

❺ 「～は～です」

事物の所在を表す文型「～は～にあります」は、第1巻でもすでに現れている「～は～です」の文型で置きかえることができる。日本語における「～は～です」の文型は、「古い情報＋新しい情報」を表現する際の最もシンプルな形である。「～は～です」の文型が用いられる条件は、余分な情報がいっさいとりのぞかれ、さらにその情報が名詞的なもので表されることである。ここでは、単に「～は～にあります」の文型が「～は～です」で表現しうることのみを学習者に提示するだけでよい。どちらの文型を先に指導するかはカリキュラムや教師の判断によるが、一方が十分定着してから他方を導入するのが一般的であろう。

場面Ⅰ－2　⑧タクシー乗り場はどこですか。
Ⅰ－3　⑳事務室はどこですか。
Ⅰ－3　㉙小林先生の研究室はどこですか。
Ⅰ－3　㉚図書館のそばの大学院の建物です。

2　その他の学習項目

❶「～は？」

場面II
㉟机の上にはありませんよ。
㊲本の下は？
㊴本の間にもありません。
㊵じゃ、引き出しの中は？
㊹ラジオの後ろにもありませんね。
㊺机の横のくずかごの中は？

この映画の中では上記の形で現れる。下線の「は」は対比の機能、つまり「前提のある表現」である。㉟の場合、対比される場所として、「机の下」「本の下」「本の間」「引き出しの中」「くずかごの中」などが前提になる。これらの前提とされている要素はそれだけで質問文をつくる。

ⓐ本の下には？ → 本の下には（ありませんか）／（ありますか）
ⓑ本の下は？ → 本の下は（どうですか）

「には」になるか、「は」になるかは、後ろに省略されている表現との間の文法的関係による。この表現は「は」の対比の機能に応じてでてくるものであるが、会話表現としてかなり使用頻度の高いものであるから、初歩の段階から積極的に基本文型として導入されるべきであろう。

彼はなしは食べません→ じゃ、りんごは？
夏休みには北海道に行きます→ じゃ、冬休みは？
両親とは相談しません→ じゃ、友だちは？

❷「～です」

場面II－5 ㊶あそこです。
㊸ここですよ。
㊹このポケットの中ですよ。

これは「古い情報＋新しい情報」で形成される「～は～です」の文型の変形である。「古い情報」の部分が表現されていないが、状況により、聞き手にとって自明なことなので表現する必要はない。そのうえ、情報としての価値が最も高い新しい情報をひとつだけ含む文である。㊶、㊸、㊹はその意味で使われている文である。この映画では、そのほか、次の文が現れる。

場面I－2 ⑭ああ、あそこですね。（相手の説明を受けて、それを確認・納得する言い方）
I－4 ㊻くずかごですか。（相手の発言が意外であったりするとき、相手の言葉の一部を繰り返す言い方。「か」の調子によっていろいろ意味が異なる。）

❸「～は～にいる」

「～に～がいる」と「～は～にいる」文型の相違は、「ある」の場合と同様であるが、「ある」は人物、動物の存在を表す表現である。第4巻でくわしく扱われるので、ここでは、人物、動物の存在はほかの動詞「いる」を用いることを紹介するのみでよいと思う。

「いる」はふつう「ます」形で導入される。

～に～が／～は～に　{います。／いません。
　　{いました。／いませんでした。

❹ 練習のための語彙表現リスト

a　会話始動語句

あのう（あの）
ちょっとすみません（ちょっと）
すみませんが（すみませんけど）
～さん（名前を呼びかける）
ちょっとお尋ねしたいんですが
失礼ですが
もしもし

b　「～はどこにありますか」の文型で練習できる場所

1：映画にでてくる語彙

地下鉄の入り口
タクシー乗り場
事務室
○○先生の研究室
図書館
大学院の建物
エレベーター
ポスト

2：その他（このレベルで導入可能の語彙）

○○空港	トイレ	博物館
○○学校	○○銀行	動物園
○○病院	郵便局	～屋
○○ホテル	○○駅	○○さんの家
○○大学	デパート	喫茶店
売店	交番	レストラン
食堂	映画館	その他、物を表す
公園	美術館	名詞

c　場所・位置・方向を表す語

1：映画にでてくる語彙

むこう	上、先
つきあたり	中
隣	下
そば	間
(この)辺	横
まわり	後ろ
右側	前

2：その他（このレベルで導入可能の語彙）

ここ	東(側)	屋上
そこ	西	地下
あそこ	南	かど
こちら	北	外(側)
そちら	左(側)	近く
あちら	まん中	遠く
向かい	すみ	近所

使用にあたって

1　効果的な使い方

以下のような方法で導入として用いることも可能であろう。まず、Ⅰ—1の場面とⅠ—3(1)の場面を見せ、「～はどこにありますか」「～は～にあります」の文型をとりだし、文型の意味と使用する場面を理解させ、教室作業へ発展させる。次に「～は～にある」の文型が既習の「～は～だ」の文型に置きかえ可能であることを学習した後、Ⅰ—2、Ⅰ—3(2)を見せる。この場面は、新しい情報を知らせる言い方「～に～がある」の文型の意味を理解するのに適当である。以上の場面だけを導入に用い、絵、実物などを用いて、この映画で学習させるべきすべての項目を練習した後、総まとめとして最初から見せる。

この映画の最も効果的な使用方法は、総まとめとしての使い方であろう。まず、映画中の語彙を可能なかぎり取り込みながら「あります」に関する学習事項を教室作業ですべてすませる。文型、語彙が定着したところで映画を見せ、前半Ⅰを場面ごとに区切って、談話練習を行う。ここで理解と定着が十分であれば、「～は～です」の文型の意味の拡張を行う。2回目の映画では「こそあ」に注意するように指示しておき、「こ」対「こ」の対応、文脈指示の指導をする。

後半場面Ⅱはドラマがあるので、1回目は最後まで見せ、内容についての簡単な質問をする。このとき、「～に～がある」「～は～にある」「～に～はない」「～にも～はない」「～は～にもない」などの文型を用いて答えさせるようにする（文型の定着を確認するため）。2回目は小場面に区切って見せ、「～は？」「～です」の文型を理解、練習させる。「～は？」の文型の練習は練習帳12ページのような談話の形式で行わなければならない。

時間がゆるせば、3回目は音声を消し、映像を見ながら学生にせりふを言わせる。行動とせりふが一致しているので、さほど難しくない。栄子の友子の役割を決めてさせると、学生はおもしろがって練習すると思う。

2　練習帳について

16ページを最初に行うとよい。まず⓲の質問に答えさせる。これは上況の「効果的な使い方」で示したビデオの後半を見せたあとでの質問と重複するものもあると思う。したがって、この時点で確認のために書かせてしまってもよい。次に⓱の書きとりであるが、ビデオまたは、音声テープを場面ごとに3回ずつ聞かせて、書きとらせる。9ページは映画のすじのまとめと、学習内容の確認のためのものである。穴うめ形式なので、教師が各場面を思い出させるよう適宜質問を加えて、完成させる。12ページと15ページは談話形式の応用練習である。教授者はもっとたくさんの場面を用意し、教室作業で、あるいは、映画の途中で、応用練習を十分にさせることが望ましい。

シナリオに沿って

I—1	通行人　女	①	あのう、地下鉄の入り口はどこにありますか。	街角
	（繰り返し）	②	地下鉄の入り口はどこにありますか。	
	通行人　男	③	あ、この先の右側にあります。	
	（繰り返し）	④	この先の右側にあります。	
	通行人　女	⑤	ああ、どうもありがとうございました。	

■語彙・表現

地下鉄　入り口　右側（左側）

あのう：会話を始めるときに用いる言葉。人（特に未知の初対面の人）との間に会話を始めるとき、質問したり依頼したりする場合の呼びかけ。言葉につまったときにも使う。

あ／ああ：発見、了解を表す。

この先：進んで行く前の方向。

どうもありがとうございました：感謝の意を表す。この場合現在形も使える。

映像 ⇨ きく　おしえる　道路

■文法

①あのう、地下鉄の入り口はどこにありますか。

物の存在する場所をきくときの一般的用法のひとつを示している。(ほかのひとつは、⑦。）見知らぬ人に尋ねるので、「あのう」と会話を始めるのである。

③あ、この先の右側にあります。

質問の意味を了解し、存在場所を示す。「この先」は第1巻で「こそあ」の体系を理解しているだけの初学者には指示物が不明確なため少し難しいと思われる。「この先」全体で、今いるところからある方向を指す、ととらえてよい。「こ」対「こ」の対応であるから相づちをうつときは、「ああ、この先ですね。」になる。

■留意点

ストップモーションによる音声の繰り返しがあるので、学習者が音声を明確に聞きとることができるうえ、同時に口に出して発音することができる。

この場面は、存在場所を尋ねる非常に一般的な表現であるので、学習者にもすぐ役立つと思う。映像の動作は誇張されすぎて不自然であるが、動作も含めて会話できるよう練習することが望ましい。

場面Iでは、いろいろな人に物の存在場所を尋ね、お礼を言う会話が取り上げられるが、おじぎの仕方など、言語行動にも注意を向ける。

I — 2	佐　藤	⑥	ちょっとすみません。	たばこ屋の前
		⑦	タクシー乗り場はどこですか。	
		⑧	タクシー乗り場はどこですか。	
	おばさん	⑨	あ、タクシー乗り場は……。	
		⑩	あそこにポストがありますね。	
	佐　藤	⑪	ええ。	
	おばさん	⑫	あのポストのむこうにあります。	
		⑬	あのポストのむこうにあります。	
	佐　藤	⑭	ああ、あそこですね。	
		⑮	どうもありがとうございました。	

■語彙・表現

～乗り場

ちょっとすみません：①「あのう」とともに、人にものを尋ねたり、依頼するときの呼びかけ。会話始動語句。

ポスト：ふつうは郵便ポストのこと。家庭の郵便受けもポストということがある。

向こう：ある物を間においたその先の方。前の方向。目的地。相手。話題になっている所。

映像 ⇨ たばこや　店番の婦人　木

■文法

⑦タクシー乗り場はどこですか。

ものの存在する場所を尋ねるもうひとつの一般的表現である。この場合「です」は「にある」と同じ意味。

⑩あそこにポストがありますね。

答え手はポストの存在を尋ね手である人に新しい情報として示している。「～に～がある」の文型であることに注意。「ね」は確認の終助詞。

⑭ああ、あそこですね。

「ああ」で了解を示す。「です」は「～にある」と同等ではない。「タクシー乗り場のある場所はあそこだ。」の意であるが、単に相手の示したことを納得し確認する場合の表現として取り扱えばよいだろう。

■留意点

I－1と同様に非常に実用性の高い場面。全体を暗記させ、置きかえ練習をするとよい。存在場所が見えない場合、まず「～に～があります」の文型で見える物や見つけやすい物を新情報として示し、そこを基準として位置を知らせることを学習させたい。

Ⅰ—3(1)	佐　藤　⑯　あのう、事務室はどこにありますか。 栄　子　⑰　あの建物の中にあります。 佐　藤　⑱　あ、そうですか。 　　⑲　どうもありがとう。	大学の正門前

■語彙・表現

事務室：事業をしていくのに必要な仕事をする部屋、事務所。

建物：住んだり、仕事をしたり、物を入れたりするために作られたもの。→ビルディング、ビル。

どうもありがとう：相手が学生であるため、場面Ⅰ—1、Ⅰ—2と比べ敬意の程度が低い。⑮参照。

映像 ⇨ 大学の門　タクシーの停止音　大学生　桜

■文法

⑯事務室はどこにありますか。　⑰あの建物の中にあります。

⑯は物の存在する場所をきくときの一般的な用法のひとつで、⑰は存在場所を示す表現。〔場面Ⅰ—1〕の形式の復習である。「あの建物」の「あの」は、ふたりの位置する所から離れたところを指し示している。

⑱あ、そうですか。

納得、了解を表す表現。「か」は疑問の終助詞とは違うことをはっきりわからせておくこと。イントネーションは下降させる。（第1巻㉖参照）

■留意点

この映画の前半の場面、（①～㉜）のような、ものを尋ねる会話では、尋ねる方が会話始動語句で話をきりだし、相手の説明があり、それを納得、了解したという合図のうなずきで会話が終わるというのが自然な表現形式である。当然最後には、お礼の表現がつく。物の存在場所に限らず、物をたずねる場合一般にわたる談話の形式として、しっかり身につけさせることが望ましい。

■生活・文化

物の存在場所を尋ねる場合、交番、または関係者に尋ねるのが確実だが、たばこやに代表されるような、古くからある商店に尋ねるとよいこと、都会では通勤者が多いため、通行人は案外場所を知らないことなどを情報として示すこともよいと思う。

I—3(2)	佐　藤 ⑳ あの、事務室はどこですか。		廊下
	学生E ㉑ この廊下のつきあたりにエレベーターがあります。		
	㉒ その隣の部屋です。		
	佐　藤 ㉓ そうですか。		
	㉔ どうも……。		

■語彙・表現

廊下　エレベーター　部屋

つきあたり：道や通路で、進んで行ってそれ以上進めない所。

隣り：並んでいる両横のもの。同一の種類のものが並ぶ場合に用いる。→(横：物の左右の方向とそのひろがりを含む。)

どうも……：前出⑲よりさらに敬意が軽くなっている。

映像 ⇨ さがす

■文法

⑳あの、事務室はどこですか。

この「です」は「～にある」と同義と考えてよいが、その物の存在場所が、目に見える場所にあるような場面、または、そう予想できる場合は「～です」の形を用いることが多い（場面Ⅰ—3⑯では「～にある」を用い、建物に入ってから「です」を用いている）。

㉑この廊下のつきあたりにエレベーターがあります。

存在場所を示す表現で、この場合、㉑㉒と組み合わさって、⑳の問いへの答えとなっている。

㉒その隣の部屋です。

この「です」は「～にある」と同じ意味ではない。第1巻で導入された「～は～です」の文型であり、事務室はその隣の部屋そのものである。「その」は、事物指示ではなく、文脈指示の「こそあ」である。

■留意点

⑳と㉒は表出された文型は同じであるが、意味がちがうので学生の注意を喚起すること。

㉒「その隣」に現れた文脈指示の「こそあ」は学習者にとって、理解はできても実際に使うときに「こそあ」のどれを選択するか、非常に難しい問題である。眼前にある物を直接指示する「こそあ」が十分習得された後の学習項目であるが、この場面では、対話の応用練習に組み込んで「そ」の使い方に限って練習するとよい。

I — 3 (3)	佐　藤	㉕	すみませんが、田中さんはどこにいますか。	喫煙室
	学生F	㉖	田中さんはどこにいますか。	
	学生G	㉗	小林先生の研究室にいますよ。	
	佐　藤	㉘	ああ、そうですか。	
		㉙	小林先生の研究室はどこですか。	
	友　子	㉚	図書館のそばの大学院の建物です。	
	佐　藤	㉛	どうもありがとうございました。	
	友　子	㉜	あの人はだれですか。	

■語彙・表現

～先生　図書館　大学院

すみませんが：質問や依頼をするとき使う。会話始動語句。

研究室：前出の事務室と合わせて、「室」の意味と「所」とのちがい、さらに図書館の「館」についても導入できる。

そば：ごく近いところ、「近く」のほうが距離的にひろがりがある。

映像 ⇨ 喫煙室　本を読む　たばこを吸う　書く　話す

■文法

㉕㉖田中さんはどこにいますか。

「～は～にいる」の文型は、第4巻で扱われるが、ここでは単に日本語では人物と動物の存在を表す場合には異なる動詞が用いられるということを紹介する程度でよい。

㉗小林先生の研究室にいますよ。

㉕㉖㉗の文型は人の存在する場所という基本の形であるが、「～にある」と同様「～です」で表現することが可能であることに注意。「よ」は情報伝達を強める。

㉙小林先生の研究室はどこですか。　㉚図書館のそばの大学院の建物です。

㉙㉚は、物の存在場所を問い、また答える一般的用法のひとつ。⑳参照。

㉜あの人はだれですか。

学生達の視野に佐藤がはいってれば、眼前指示の「あ」であるが、そうだとしたら、失礼な発言だろう。当然視野をはずれたと考え、文脈指示の「あ」と解釈してよい。「あ」の用いられるおもな条件は、「話者と聞き手の双方が了解している」ことである。

■留意点

すでに「いる」を学習済みの場合は問題ないが、未習の場合には「～にいる」の学習の導入として取り上げるか、「いる」は人や動物についての言い方であるとしてちがいに注目させるだけにとどめるか、取り扱いに配慮が必要。

II-1(1)	栄　子　（セリフなし）寮の前で、ハンドバッグの中に財布があるか調べる。ないので部屋にもどる。	
II-1(2)	栄　子　㉝　友子さん、私の机の上に財布がありますか。 友　子　㉞　財布？ ㉟　机の上にはありませんよ。	栄子と友子の部屋

■語彙・表現

友子さん：人名であるが、この場合は呼びかけ語であり、会話始動語句。

机：本を読んだり、字を書いたりするときに使う台。引出しがついていることが多い。「テーブル」はふつう引き出しのついていない食事などに使う台。

財布：後半のストーリーでの重要な語句なので前もって導入するのもよい。（さついれ、がまぐち）最近はどんな形のものも「財布」という。

映像 ⇨ 寮　出る　門　バッグ　しらべる

■文法

㉝私の机の上に財布がありますか。

「～に～がある」の文型であることに注意。友子にとって栄子の財布が机の上にあるかどうかは新しい情報であるため、この文型がつかわれる。

㉞財布？

「財布ですか」の省略形。親しい関係で使われる。疑問形をとっているが、この場面では、相手の質問に対して重要と思われる部分を確認するときの言い方である。

㉟机の上にはありませんよ。

「～には」の「は」はほかの場所を対比させ、「机の上」を特にとりたて、そこに「ない」ことを示したのである。「ありません」は、「あります」の否定形。

■留意点

㉝の発話は不自然であるが、第2巻の段階では基本の文型として教えられなければならないものである。㉟の「は」の理解は困難であるから、単に㉝の質問に対する否定の文型として与えてもよい。さらに学習が進んだ段階で、つまり「は」を含む文型のサンプルがふえた時点で、解説・整理しておかなければならないだろう。

■生活・文化

親しい関係の若い人の会話のスタイルが紹介される。もちろんまだかなり敬意の程度の高い会話体ではあるが、場面Ⅰとのちがいから、相手によって言語表現が異なることに気付かせることができるだろう。もし可能なら、こうした場面での日本語でのやりとりは、くだけた日本語であって、今学習中の日本語とちがうことを知らせた方が、やがて学習者が知る日本語の実際についてのショックを少なくすることができる。

II—2	栄　子　㊱　ありませんね。 友　子　㊲　本の下は？ 栄　子　㊳　本の下にはありません。 　　㊴　本の間にもありません。

■語彙・表現

本

ありませんね：㉟の「ありませんよ。」という友子からの情報を栄子は自分で確認しているのである。この「ね」にはがっかりした気持ちがこめられている。

間：物と物とにはさまれた部分（場所・空間的に）ほかに　1.ある時とある時にはさまれた時間　2.ある続いた時間　3.人と人との関係、など。

映像 ⇨ へや　いす　まど　カーテン　さがす

■文法

㊱㊳㊴ありません(ね)。

「あります」の否定形。

㊲本の下は？

㉟の「机の上にはありませんよ。」の文を前提として、「本の下はどうですか。」という質問文の省略形である。「本の下には？」も可能であるが、これは「机の下にはありませんか。」の省略で、どちらをとるかは話し手が想起している述部がどちらであるかによる。この巻で導入したい文型のひとつである。

㊳本の下にはありません。

「～には」は「～にも」も可能である。「は」を用いても「も」を用いても、言語によって表現されている事態は同一である。その「事態」を前の㉟と結びつけて考えるか(この場合「も」)、切り離してとらえているか(この場合「は」)、という話し手の心理の状態による。「は」を用いることにより、話し手は㉟との関連を故意にたち切り「あるはずがない」という強い調子を含めることができる。

■留意点

㊲の文型は次の場面㊵㊺にも表れ、この巻で導入すべき文型として取り上げられているので、学生が見おとすことのないように注意を喚起し、IIの場面が終わってから、談話の形式で練習させるとよい。ただし、この省略は親しい関係かまたは目上から目下にしか用いることができない点を十分指導しなければならない。

■生活・文化

女子寮のひとつのサンプル。ふたり部屋。第5巻に男子学生のふたり部屋が、第11、12巻にひとり部屋（下宿）がみられる。

II—3	友　子　㊵　じゃあ、引き出しの中は？ 栄　子　㊶　引き出しの中にもありませんね。 友　子　㊷　ラジオの前の箱の中にもありませんね。 栄　子　㊸　机の下にもありません。 友　子　㊹　ラジオの後ろにもありませんね。

■語彙・表現

ラジオ　箱

じゃあ：「それでは」「では」の話し言葉。前の事態を受けて、次に行われる物事を表す文との接続に用いる。「じゃ」「それなら」

ひき出し：たんすや机などに取り付けた、出し入れができるようになった箱。

■文法

㊵じゃあ、引き出しの中は？

これは㊲の文型と同様であるが、「じゃあ」「じゃ」を「～は？」の文型と組み合わせて学習させたい。

㊶引き出しの中にもありませんね。　㊷ラジオの前の箱の中にもありませんね。

㊶㊷、そして㊸㊹の文はすべて「～にも」が用いられ、学習者に助詞「も」の最も基本的な機能、添加、付加の意味が理解しやすいようになっている。「ありません」は「あります」の否定形。

㊷は、日常の場面ではあまり現れないような不自然な文である。しかし「の」機能を説明する例として取り上げよう。「～前の箱」は、「～前にある箱」の意。この場合も名詞と名詞が「の」によって結びつけられている。

■留意点

映画第2巻全体に出てくる位置を示す言い方「～の上」「～の右側」などは語順の点で母国語と異なる学生の場合には混乱しやすいので、十分な練習が必要であろう。

㊷の「の」で接続されている長い文も、「前の箱」「箱の前」の混乱がおきないように、意味のまとまり「ラジオの前」「箱の中」「(ラジオの前)の箱」が正しく把握できたかどうかに留意する。

この場面は栄子・友子の会話が、動作と一致しているので、一度見せたあと、音声を消して映像のみを見せ（必要があれば画面を停止させて)、学生にせりふを言わせることができる。

II—4	友　子	㊺　机の横のくずかごの中は？
	栄　子	㊻　くずかごですか？
		㊼　この中にはありません。
		㊽　この辺にはありませんね。
		㊾　ええ、机のまわりにはありませんね。

■語彙・表現

くずかご：くず（物の一部などの役に立たないもの）くずいれ、ごみばこ。

この辺：その辺、あの辺、どの辺、の形で用いる（近く、あたり）。場所を点として示さず、幅をもたせた表現。④「この先」を参照。

まわり：ある場所を中心にし、そこに近いすべての場所、周囲。

映像 ⇨ 見回す

■文法

㊺机の横のくずかごの中は？

㊲と同じ文型である。「～横のくずかご」の「の」は、㊷と同様「～にある」の意味。

㊻くずかごですか？

文末のイントネーションに注意。㊺の友子の質問に納得がいかなかったため、聞き返す形で「くずかご」を繰り返して「～ですか」の文型を用いている。そんな場所にあるはずはないという感情がこめられる。この場合「～は」に当たる部分は表現されない。

㊼この中にはありませんね。

「この中」は、「くずかごの中」である。「～にも」ではなく「～には」が用いられているが、㊳の場合と同様、ほかの場所にはあるかもしれないが、もちろん「くずかごの中などには」あるはずがない、という感じが表現される。

■留意点

前場面II—3では「～にも」で繰り返された「ありません」の文型が、この場面で「～には」となっていることに注意。㊽㊾の「～には」はほかの場所が前提として対比され、ほかの場所にあるかもしれないが、この場所にないことを表現している。㊺㊻㊼、また㊽㊾のそれぞれを談話の型として場面をかえて応用練習することが望ましい。

II—5	栄　子	⑤⓪	ああっ。
		⑤①	あそこです。
	友　子	⑤②	えっ、どこ？
	栄　子	⑤③	ここですよ。
		⑤④	このポケットの中ですよ。
		⑤⑤	ほら。

■語彙・表現

ああっ：発見したり、何かを急に思いついたりしたことを表す。

えっ：相手の話したことを聞いて、驚いたときに用いる。

ほら：人に呼びかけたり、注意をひいたりするときに用いる。

ポケット：シャツ、ズボン、上着などについている、物を入れるための袋。

映像 ⇨ かべ　コート　ハンガー　みつかる　みつける

■文法

⑤①あそこです。

この「です」は「～にあります」と考えてもよいが、「(さがしていた財布のある場所は)あそこです。」の文型として解釈すべきであろう。新しい情報だけを直接にしらせるのである。「火事だ！」「あ、雪ですよ」などと同じ「です」の用法である。情報の価値を高めるため、「～は」の部分は省略される。⑤③、⑤④も同様である。

⑤②えっ、どこ？

⑤①の「あそこです。」の「あそこ」は発言者には了解されていても聞き手には具体的な場所がはっきりとわからないための聞き返しである。「(どこ)ですか」の文型が省略した形で用いられている。⑤①「あそこ」と⑤③「ここ」は同じ場所を示しているが、発言者の移動により変化している。また⑤④で「このポケットの中」と言いかえられている。

■留意点

第2巻の主要学習項目「～です」の多く現れる場面である。しかし日本語における「～です」の用法を初歩の学習者に理解させるのはなかなか難しい。そこで「～です」の文型の拡張として、まず「～にある」が「～です」の文型に置きかえられることを十分理解させることが大事である。次に、この場面のように、非常に重要な情報を示す場合には「～にある」の文型をとらずに、「～です」として表現するのだ、と説明した方が、わかりやすいであろう。映画を用いた学習の方法として、「さいふ」とは何かを教えずに、最後になって理解できるように導く方法もある。

第3巻 やすくないです、たかいです

— 形容詞 —

目的・構成

1 目的

事物の属性を言い表す形容詞(例「長い」「高い」など)を取り上げ、述部での言い方（例「長いです」）や名詞を修飾する言い方（例「青い色」）を学習内容とする。

2 構成

この作品は人形劇によってつくられ、ふたりの青年が、前半はデパートのベッド売場でベッド選びをし、後半は食堂で食事をする場面からなっている。

		文	場面	ストーリー	学習項目	カウント
I			タイトル	黒子が人形を持って現れる。		
II	1	①～	ベッド売場	中村とリー。店員が現れる。	青いの	
	2	⑤～⑩	短いベッドの前で	いいベッドはあったが、長身のリーには短い。	～です、～ないです	
	3	⑪～	長いベッドの前で	長いベッドは色が薄い。値段が高いとリーは主張する。	長いベッド ～です、～ないです	
	4	⑱～				
	5	㉒～	ソファーベッドの前で	リーはベッドが固くて重いのが気にいらない。結局ベッドを購入するには至らない。	～です、～ないです 高い／高くない(言いきり)	
	6	㉗～				
	7	㉚～				
III	1	㊳～㊶	レストランで食事しながら	パンの柔らかさ、新しさについて、肉やコーヒーの味についての話をする。	～です、～ないです からい／にがい(言いきり)	
	2	㊷～				
	3	㊽～				

学習項目

1　主要学習項目

形容詞

この映画で取り上げられている形容詞の用法は、次のふたつである。

(1)　述部での言い方

「～は～です」文型の述部部分にそのまま形容詞が入る。

⑤　これは、短いですね。

⑨　うーん、背が高いですね。

述部部分を否定形にする場合は、形容詞自体を否定形にして「～です」の文型をそのまま用いる。形容詞の否定形は、「安い」→「安くない」のようになる。つまり語尾の「い」を「く」に変え、「ない」を接続させるのである。

⑧　短くないですよ。

⑯　薄くないですよ。

否定形には次のような形もあるが、それは第10巻「もみじが　とても　きれいでした」で取り上げる。

⑧′　短くありませんよ。

⑯′　薄くありませんよ。

なお、丁寧に応じあう必要のない親しい間柄の会話などでは、「です」が省略されることがある。

㉚　高い。　㉜　高くない。

(2)　名詞を修飾する言い方

形容詞をそのまま名詞の前に置く。

②　この青い色のベッドはありませんか。

以上のほかに次のような用法もある。

(3)　「～た」形　　昨日はとても寒かったですね。

(4)　文の中止　　天気がよく（て）、楽しい一日でした。

(5)　連用修飾　　早く起きてください。／暖かくなりましたね。

(6)　条件の言い方　　お天気がよければ、行ってみたいわ。

(7)　「～う」形　　それでよかろう。

(8)　「～ございます」形　　それでよろしゅうございます。

(3)～(5)については第10巻で、(6)については第21巻で簡単にふれている。

この映画で取り上げた形容詞は、基本的な属性形容詞（長い、重い、など）である。感情形容詞（楽しい、うれしい、など）については、やはり第10巻で扱う。

(3) 形容詞のリスト

次の表は、この巻で取り上げられている形容詞、および日本語教育映画第1巻から第20巻までに出てくる形容詞に一般の初級教科書で多く取り上げられている基本的な形容詞を加えたものである。（左欄の各形容詞の後ろの数字は、映画の中の文番号である。）

この映画に提出された形容詞		その他の基本的な形容詞	
青い	②③	白い	遠い
長い	⑪	黒い	近い
短い	⑦⑧⑩⑬	赤い	早い
(背が)高い	⑨	黄色い	遅い
高い	⑱⑲⑳㉚㉜㉟	悪い	速い
安い	⑳㉝㉞㉟	暑い	遅い
大きい	㉙	寒い	楽しい
小さい	㉗㉘	暖かい	うれしい
濃い	⑰	涼しい	悲しい
薄い	⑮⑯	熱い	苦しい
重い	㉔㉕	冷たい	さびしい
軽い	㉖	明るい	おもしろい
古い	㊳	暗い	めずらしい
新しい	㊴	広い	おかしい
固い	㉒㉓㊵	狭い	すばらしい
柔らかい	㊶	少ない	痛い
薄い	㊷	多い	美しい
厚い	㊸	難しい	優しい
まずい	㊺	やさしい	正しい
おいしい	㊻	強い	はずかしい
いい	⑥⑫⑭	弱い	うるさい
辛い	㊼	太い	ねむい
苦い	㊽㊾	細い	若い
甘い	㊶㊷	忙しい	きたない

ほかの形容詞については、『国立国語研究所資料集6　分類語彙表』(1964年　秀英出版）を参照するとよい。

2　その他の学習項目

❶「～は　ありませんか」

②この青い色のベッドはありませんか。

映画中で、リーは見本を見てその実物が存在するかどうかをきいている。「ありませんか」は第2巻「さいふは　どこにありますか」の学習延長上にあるもので、また同種のものに人の存在を問う「～はいませんか」がある。第4巻「きりんはどこにいますか」の主要学習項目参照のこと。

❷　終助詞「ね」「よ」

日本語をより日本語らしく話すために、終助詞の役割は大きなものだが、使い方を誤ると相手の心情を害することにもなるので、指導にあたっては十分に気をつけたい。学習者の習熟度に応じて取り上げるべきだろう。

「ね」(「ねえ」ともなる)

(1)　相手に同意を求めたり、確認を求めたりする気持ちを表す

①たくさんありますね。(⑦㉒㊳㊷㊺も同様)

集合は10時ですね。

(2)　相手に同意を与える気持ちを表す

⑥これはいいですね。(⑩⑭㊸も同様)

(3)　自分はそう思う（相手を納得させたい）という気持ちを表す

僕はそうは思わないね。

僕ならこうするね。

(4)　感心したり、がっかりしたり、驚いたりした気持ちを表す

③えーと、青いのはないですね。

⑨うーん、背が高いですね。

(5)　（相手の言ったことや質問を受けて）次の言葉をためらったり、考えたりしているときの表現（ねえ、となることが多い）

そうですねえ、それは……。

(6)　相手の注意を促す（若い女性や子どもに多い）表現

それでね、昨日ね、わたしね……。

「よ」

(1) 相手の主張に不満があり、自分の意志や感情、意見、判断などを強く相手に押しつけようとする気持ちを表す

⑧みじかくないですよ。(⑯⑰⑲㉑㉓㊵㊻も同様)

(2) 相手への不満はないが相手に言いきかせようとする気持ちを表す

⑫中村さん、これはいいですよ。

公園の桜がきれいですよ。

(3) 疑問の意味を表す言葉といっしょに使って、困るとかいやだという気持ちを表す

なんで教えてくれなかったんだよ。(男性)

だれよ、わたしにだまってこれ見た人は。(女性)

(4) 「～しなさい」、「～してください」という気持ちを強める

早く行けよ。(男性)

だれにも言わないでよ。

(5) 「～(よ)う」について誘いの気持ちを表す

みんなで行きましょうよ。

少し休もうよ。

使用にあたって

1　効果的な使い方

この作品は一文一文が非常に短いが、終助詞「ね」「よ」を伴い登場人物の気持ちがよく表されている。終助詞は話し手の気持ちを表すためには有効なものだが、それだけに相手に不快感を与えてしまうこともある。アクセントやイントネーションの指導には特に注意したい。

またこの作品は、ひとつの試みとして人形劇で作られている。形容詞を学習するうえでの余分な状況（たとえば、目ざわりな背景や登場人物の個人的な癖など）をできるだけ排除し、中心をきわ立たせようとしたのだが、結果的にはかえって不自然さも目立っている。人形劇であるがゆえに許されている部分を学習者が誤解しないよう説明する必要があるだろう。

利用法に関しては、サウンドを消して役割を決め、学習者にシナリオ（セリフのみ）を渡し、映像を見ながら発話させてみるのもおもしろい。思わぬアドリブがとびだすこともある。さらにその音声を録音してみんなで聞いたり、映画と聞き比べたりすることも興味深い。

2　練習帳について

「自習用」の練習問題には、この映画では扱われていないが、初級段階で知っておいてもよいと思われる基本的な形容詞も加えておいた。辞書で調べさせたりしてもよいだろう。

練習問題⓯、⓰では形容詞を取り入れた会話体の練習をする。ここでは特に文末の「ね」「よ」のイントネーションに気をつける。⓰ではそれに加えて、A「そうですか」のイントネーションに注意する。「か」を疑問のマーカーとしてとらえ、(↗)というイントネーションになってしまう学習者が多い。ここでは「そうですか(↘)」、「わかりました」という意味なのである。⓱については映画を見終わった後で、学生に考えさせるとよいだろう。場面ごとに区切って書かせてもよい。

シナリオに沿って

I	タイトル		
II—1	リ　ー	①	たくさんありますね。
		②	この青い色のベッドはありませんか。
	中　村	③	えーと、青いのはないですね。
	店　員	④	いらっしゃいませ。

■語彙・表現

たくさん：数量が多いこと。↔(少し)→(おおぜい)→「本がたくさんあります。」

青い：→赤い、白い、黒い、黄色い

えーと：すぐに言葉がでないで、少し考えているときにでる言葉。

いらっしゃいませ：客に対する丁寧なあいさつ。商店や会社で客を迎えるときに使われることが多い。→いらっしゃい。

映像 ⇨ ベッド売り場　見本　店員

■文法

①たくさんありますね。

ベッドの数について言ったもの。ベッドの話題であることはわかりきっているので、わざわざ「ベッドが」とは言ってない。「ね」は同意を求める気持ち。

②この青い色のベッドはありませんか。

「この」は「この色」である。リーは見本の中から「この色（青）」を選び、中村にきいた。「青い色のベッド」は「青いベッド」と同義である。しかしここでは色を問題にしていることを強調するため、このような表現となっている。

③青いのはないですね。

「の」は②のベッドをうけている。補足すれば「青いの」→「青いベッド」。となる。「ね」は残念ながら、という気持ちをそえていて、②の「ありませんか」という期待に対応している。

■留意点

「えーと」は日常会話でも、答えにつまった場面などでしばしば使われる表現である。学習者もすぐ覚える語だが、あまり乱用しないように注意した方がよい。

■生活・文化

この作品が人形劇であることを知らせるため、まず黒子（くろこ）が登場する。

黒子は浄瑠璃の人形遣いや歌舞伎の後見役といった黒装束の人のこと。観客に姿が見えても見えないことにする約束になっている。

II—2	中　村	⑤	これはどうですか。
	リ　ー	⑥	これはいいですね。
		⑦	短いですね。
	中　村	⑧	短くないですよ。
		⑨	うーん、背が高いですね。
		⑩	このベッドは短いですね。

■語彙・表現

どう：相手の気持ちや意向、また様子を尋ねるときに使う。／→(いかが) →「たばこはどうですか。」「テストはどうでしたか。」

いい：否定形は「よくない」。「よい」はあらたまった言い方。

短い：↔長い→「短いえんぴつ」

うーん：深く感心したり、感動したりしたときの表現。

背が高い：↔背が低い

映像 ⇨ 白い　メジャー　はかる

■文法

⑤これはどうですか。

人に何かをすすめるときに使う。ある物を気に入ったかどうかを問い尋ねている。

⑥これはいいですね。

⑤のすすめに対して、「これ」が気に入ったことを表明している。

⑦短いですね。　⑨うーん、背が高いですね。　⑩このベッドは短いですね。

いずれも、形容詞の「～です」の形。

⑧短くないですよ。

形容詞の否定の形。ほかに「短くありません」という形もある。ここでの「よ」は、相手に自分の意見・考えなどを押しつけようとするひびきをもつ。

■留意点

リーと中村の会話にはしばしば終助詞「よ」が使われている。学習者にとって、耳に残る表現であるが、目上の人に対して使っては失礼になるなど、乱用しないよう注意することが大切である。また、「背が高い」という表現は、建物などの場合は「高い」、人間の場合は「背が高い」などの例で、ここでは簡単にイディオムとして入れる。

II — 3	店　員	⑪	長いベッドもあります。
	リ　ー	⑫	中村さん、これはいいですよ。
		⑬	これは短くないです。
	中　村	⑭	うん、いいですね。
	リ　ー	⑮	色は薄いですが。
	中　村	⑯	薄くないですよ。
		⑰	濃いですよ。

■語彙・表現

長い：↔短い

うん：納得したということを自分自身を相手として表現したもの。肯定の返事にも使うが、ここでは返事ではない。

うすい：「色が薄い」／「味が薄い」（↔濃い）　　薄い↔厚い（㊷㊸参照）

映像 ⇨ 黄色い　はかる

■文法

⑪長いベッドもあります。

「長い」は「ベッド」を修飾する連体形。

⑫これはいいですよ。 ⑭うん、いいですね。 ⑮色は薄いですが。 ⑰濃いですよ。

形容詞の「～です」の形。

⑬これは短くないです。 ⑯薄くないです。

形容詞の否定形「～くないです」の形。「～くありません」ともいう。

⑮色は薄いですが。

ベッドの色について「薄い、濃い」とその属性について言っている。「ベッドは色が薄い」の形が一般的だが、ここでは「ベッドは」は省略され、「色が」は提題となって「色は」となっている。この段階では深くふれなくてよい。終助詞「が」は、逆接の意味をもっていて、後の部分(たとえば、「いいです」)が省略されている。

■留意点

形容詞の学習の最初の段階で「(色が)濃い、薄い」を教えることはあまりないかもしれない。「濃い、薄い」は相対的な判断で、画面からもはっきりはわかりにくいので、あらかじめ語彙を導入しておいたほうがよいと思われる。

II—4	リ　一	⑱	これは高いです。
	中　村	⑲	高くないですよ。
		⑳	安いですよ。
	リ　一	㉑	高いですよ。
II—5	リ　一	㉒	かたいですね。
	中　村	㉓	かたくないですよ。

■語彙・表現

高い：(値段が) 高い↔(値段が) 安い　cf.「背が高い」

かたい：↔柔らかい「かたいいす」「柔らかい肉」

映像 ⇨ 値段　すわる　もちあげる

■文法

⑱これは高いです。 ⑳安いです。 ㉑高いですよ。 ㉒かたいですね。

形容詞の「～です」の形。

⑲高くないですよ。 ㉓かたくないですよ。

形容詞の否定形「～くない」の形。「～くありません」の形もある。

■留意点

㉒㉓は話題は眼前にあるベッドのことであり、わかりきっていることなので、わざわざ「このベッドは」「これは」と言ってはいない。

■生活・文化

㉑でリーは首を振りながらその場を去っている。もうこれ以上付き合ってはいられない、ということで首を振るのは日本人の動作としては一般的ではないように思われる。リーはもとより日本人ではない。

II—5	リ　一	㉔	重いです。
	中　村	㉕	重くないです。
		㉖	軽いです。
II—6	中　村	㉗	小さいですか。
	リ　一	㉘	小さくないです。
		㉙	大きいです。

■語彙・表現

重い：↔軽い→「重いかばん」

小さい：↔大きい

■文法

㉔重いです。 ㉖軽いです。 ㉗小さいですか。 ㉙大きいです。

形容詞の「～です」の形。

㉕重くないです。 ㉘小さくないです。

形容詞の否定の「～くないです」の形。「～くありません」の形もある。

㉕重くないです。 ㉖軽いです。 ㉘小さくないです。 ㉙大きいです。

⑯と⑰ ⑲と⑳と同様、反義語を使って、同じ意味に言いかえている。

■留意点

「大きい」ということばには「大きすぎる」という意味と、状況によってはこの場面でのように「必要な程度に十分大きい」という意味がある。しかし「小さい」については「(必要な程度に)十分小さい」ということはほとんどない。「ちょうどいいです」という表現もあわせて教えておくと便利であろう。「長い↔短い」も同様である。また、ベッドが長い、短い、という場合には長さだけを問題にしているが、大きい、小さい、はこの場合、全体の面積を問題にしている。リーがベッドに寝て、両手を広げてみせるのはこのためである。

II — 7	リ　一　㉚　高い！ 中　村　㉛　えっ？ 　　㉜　高くない。 　　㉝　安い。 リ　一　㉞　安くない。 　　㉟　高い。 中　村　㊱　安い。 　　㊲　うーん、うん。

■語彙・表現

えっ？：聞き返しの表現。「え？」「ん？」とも言う。また、驚いたときなどにも使う。（ええっ？）

うーん、うん：ため息を鼻音で表現したようなもの。フーンフンに近い。

映像 ⇨ 驚く　8万円

■文法

㉚高い！

驚いて、思わず言ったため、「です」のつかない言い切りの形になっている。

㉛えっ？　㉜高くない。

相手に突然言われたため、何を言ったかわからずに聞き返している。しかし、すぐに相手の言った意味を了解し、相手が言葉を繰り返さないうちに反応（㉜）している。

㉜高くない。　㉝安い。　㉞安くない。　㉟高い。　㊱安い。

形容詞の肯定・否定の形が「です」を伴わないで使われて、会話が進んでいる。㉚の場合とは異なり、相手のことも十分意識しているのだが、感情が高ぶっていて「です」をつける余裕がないのである。

■留意点

「～です」「～ます」のいわゆる丁寧体の会話が、日本語教育映画のユニット1～4では基本となっているが、この場面の例のように、「～です」「～ます」のつかない普通体の会話もときおり見られる。初級の段階においても、親しい間柄での日常会話では普通体が用いられることが多いことなどの知識を与えておくとよい。

■生活・文化

5万円、8万円のベッドを経済的余裕から「安い」というとは限らない。「良い品物であるわりには」という相対的価値判断があると考えられる。

Ⅲ—1	中　村	㊳	このパンは古いですね。
	リ　一	㊴	新しいです。
	中　村	㊵	固いですよ。
	リ　一	㊶	いいえ、柔らかいです。
Ⅲ—2	中　村	㊷	薄いですね。
	リ　一	㊸	厚くないですね。
		㊹	ハハハ。
	中　村	㊺	まずいですね。
		㊻	いいえ、おいしいですよ。

■語彙・表現

古い：↔新しい→「古いくつ／新しい車」

柔らかい：↔固い→「柔らかいボール／固い石」

薄い：↔厚い

まずい：↔おいしい

ハハハ：朗らかな笑いの擬声語。／ヒヒヒ、フフフ、ヘヘヘ、ホホホ。

映像 ⇨ 食べる　テーブル　(お)さら　ナイフ　フォーク　肉（ステーキ）

■文法

㊳このパンは古いですね。　㊴新しいです。　㊵固いですよ。　㊶いいえ、柔らかいです。　㊷薄いですね。　㊺まずいですね。　㊻いいえ、おいしいですよ。

形容詞の「～です」の形。㊳と㊴、㊵と㊶、㊺と㊻では、それぞれ「古い↔新しい」「柔らかい↔固い」「まずい↔おいしい」という反義語の組み合わせが現れている。これまでの言い方にならえば、㊴「古くないです。」㊶「堅くないです。柔らかいです。」ということになるが、相手の言ったことばをそのままうけて否定で返すよりも、㊴㊶㊻の言い方のほうがいくらか柔らかい感じになる。

■留意点

「あつい」には、この場面の「厚」のほかに「熱」「暑」の同音のことばがある。適当な例文とともに、アクセントの違い（それぞれ　あつ$\overline{い}$　あ$\overline{つ}$い　あ$\overline{つ}$い）を紹介し、日本語におけるアクセントの問題にふれてもよい。

■生活・文化

ナイフとフォークで洋食を食べるという光景は、日本中もはやどこでも珍しくはない。食後のコーヒーもあたりまえになっている。しかしもちろん、座敷にすわり膳を据えるといった昔ながらのスタイルも残っている。

Ⅲ－2	中　村　㊼　辛い。
Ⅲ－3	中　村　㊽　うっ、苦い。 リ　ー　㊾　苦いですか。 中　村　㊿　いいえ。 リ　ー　51　甘いですか。 中　村　52　はい、甘いです。 リ　ー　53　ハハハハハ……。

■語彙・表現

からい：(→苦い、甘い、すっぱい、塩辛い)「辛い料理」「苦いコーヒー」「甘いさとう」「すっぱいレモン」「塩辛い海水」

映像 ⇨ 飲む　こしょう　ウェートレス　コーヒー　さとう　入れる

■文法

㊼辛い。　㊽うっ、苦い。

㉚の言い切りの形に似ている。ただ「熱い」「痛い」のような感動詞的な表現にも近い。「熱い」「痛い」の場合には、「熱っ」「痛っ」というように語幹のみになることも多い。これらは対象からの感覚を表現している形容詞である。

㊾苦いですか。　51甘いですか。

「苦い」と「甘い」が対になっているが、「甘い」の反義語は「苦い」ばかりではない。甘い、苦い、辛い、酸っぱい、塩辛い、をあわせて五味という。「甘い」をとりまいていろいろな味覚語があるといえる。(→渋い)

53ハハハハハ……。

この笑いによってふたりの仲がまたなごやかなムードになってきたことがわかる。中村の場合はフフフに近い声で笑っている。

■生活・文化

リーは何の断りもなしに、中村の肉にこしょうをかけたり、中村が苦いと言っただけでコーヒーに砂糖を入れたりするが、これは大変失礼なことである。人形劇だからこそ許されていることだろう。

第4巻 きりんはどこにいますか

—「いる」「ある」—

目的・構成

1 目的

第2巻の存在文「～がある」の学習に引き続き、存在文「～がいる」の用法を理解し、その両者の用法の違いを明確にする。

2 構成

父、母、兄、妹の一家四人が、動物園に勤める父の友人を訪ね、動物園を案内してもらうという設定で、場面が構成されている。

		文	場面	ストーリー	学習項目	カウント
I		①～⑤	動物園の入り口	一家は動物園に入り、案内所で事務所の所在を尋ねる。	「～は～にある」 「～に～がある」	
II	1	⑥～⑧	事務所の前	父、事務所から出て来た男に友人坂口の居所を尋ねる。	「～は～にいる」	
	2	⑨～⑭	事務所の中	父母、事務所に入るがだれもいない。そこへ奥から坂口現れる。	「(だれか)いる」 「(だれも)いない」	
	3	⑮～	事務所の中	坂口、子供たちの所在を尋ねる。	「～は～にいる」	
	4	⑱～㉒	事務所の前	坂口、案内書を子供たちに渡しそれを見て子供たちが質問する。	「～は～にいる」	
III		㉓～㉕	動物園内	坂口、一家を案内して動物園をまわる。	「～は～にいる」 「～に～がいる」	
IV		㉖～㉝	昼食	一家、坂口とともに昼食をとる。	「～がある」「(何か)ある」「(何も)ない」	
V		㉞～㊴	動物園内	一家、坂口と、ある動物の囲いの所へ行く。	「(何か)いる」 「～がいる」	
VI		㊵～㊹	動物園の出口	見物を終えた一家、坂口に礼を述べる。		

学習項目

1　主要学習項目

❶「～は～にある」と「～に～がある」

存在を表す動詞「ある」「いる」には大きく分けて二通りの使い方がある。第2巻主要学習項目で述べたように、「～は～にある」という文型は、すでに話し手・聞き手の間で了解ずみの（あるいは、聞き手が了解していると考えられる）「ある物」が、どこに存在しているかを問題にするために使われる。この巻で本格的に導入される「～に～がある」という文型は、聞き手に「あらかじめ了解されていないある物」が、「ある場所」に「存在する」ことを伝達するために使われる。つまり、「～に～が～ある」文型においては、文全体が聞き手にとって新しい情報を示している。

これを現実の発話場面に即して考えると、以下のことが言える。

(1)「～に～がある」文型はまれにしか疑問文にならない。

(2)「～は～にある」文型は対象物の存在が前提となるため先行文脈をもつ。
「～に～がある」文型は後続文脈をもち、しばしば談話の冒頭に使われる。

❷「ある」と「いる」

上で述べた存在を表す動詞「いる」「ある」の使い分けを対比すると、「意志を持って自由に動き回れるもの」対「意志を持って自由に動き回れないもの」ということができる。導入段階で注意したいのは、疑問詞をともなう疑問文をつくるときである。

だれがいますか。（人）
何がいますか。　（動物）
何がありますか。（人・動物以外のもの）

初級の導入の段階では、以上のような使い方の違いを教えるだけで十分であるが、実際には、これ以外の使い方もいろいろある。たとえば、初級段階も半ばになると次のような使い方が提出される。

（あなたは）兄弟がありますか。
わたしは、子供がありません。

これは、存在を表すというよりも、所有を表すものとして扱われている。

「ある」は、また、人を単に対象物化して表現する場合に用いられる。

ラジオのニュースによると、かなりの負傷者があったようです。

反対に、人間・動物以外のものに対しても意志を持って自由に動き回れるものとしてとらえて「いる」で表現することもある。

あのパトカーは、あそこに何時間もいるぞ。

「いる」「ある」の「ます」形は、第2巻でもふれたが、繰り返すと次のとおりである。

い	あり
ます	ます
ません	ません
ました	ました
ませんでした	ませんでした

❸ 「いませんか／ありませんか」

「いませんか／ありませんか」の否定を含む問いかけは、「います／あります」のような肯定の答えを期待するものであり、「いますか／ありますか」よりも柔らかい調子の問いかけである。

⑪ だれかいませんか。

㉘ お母さん、お茶はありませんか。

「ありませんか」は、買物場面に応用できる表現である。

すみませんが、夏目漱石の「明暗」はありませんか。

なお、「どこ」を用いて場所をきく場合には「いますか／ありますか」が用いられる。

× 坂口さんは、どこにいませんか。

○ 坂口さんは、どこにいますか。

× 事務所は、どこにありませんか。

○ 事務所は、どこにありますか。

2 その他の学習項目

❶ 「何か／何も」と「だれか／だれも」

「何かありますか」は、物の存在の有無を尋ねる表現である。したがって、それに答える場合には、有無を言うだけでもすむ。

箱の中に何かありますか。
はい、あります。
何がありますか。
はがきがあります。

実際の会話では、「何かありますか」の問いに存在の有無を返答するのでなく、実際に存在するもので直接答えることも多い。つまり、上の四文のうち最初の問いに最後の答えをあてるわけである。

㉚ お母さん、ほかに何かありませんか。
㉛ ジュースがありますよ。

「何もありません」は物が存在しない場合に用いられる。

㉜　お母さん、もっと何かありませんか。
㉝　もう何もありません。

「だれか」「だれも」が「いる」との組み合わせで用いられると、それぞれ人の存在、人の不在を表すが、用法の点では「何か」「何も」と全く同じである。

⑪　だれかいませんか。
⑫　いますよ。
⑩　だれもいませんね。

「何か／何も」「だれか／だれも」は、「ある」「いる」以外の動詞とも用いられる。

第14巻　㊾　何か飲み物を買ってきましょうか。
第12巻　⑮　だれか来るんですか。
⑯　ええ、ちょっとお客が来るんです。
⑰　へえー、だれが来るんです？
⑱　秋子さんが来るんです。

使用にあたって

効果的な使い方

第2巻に続いて本巻に取り上げられている主要学習項目「ある」「いる」は、事物・人物を提示するというその性質上、視覚教材にふさわしいものである。「ある」「いる」導入後、この映像教材を副教材として使うことは、学習者が主要学習項目を談話の中でとらえる機会を与えるということで文型定着には効果的であろう。また談話中の主要学習項目以外の項目も、ほとんどが頻度の高い慣用表現なので、これらを学習するという意味でも有意義であろう。

一回見終わったら、二回目は、ストーリーを4つくらいに区切って見せるか、あるいは、各場面ごとに見てもよいだろう。最終場面を除いて、すべての各場面に主要学習項目が提出されているので、それを中心に内容質問をして、それ以外の慣用表現は、聞きとりをさせ、全員がわからなければ、教授者から説明するようにする。新出語彙も、ほとんどの場合映像が助けとなるので説明は必要ないだろう。会話として音声になっていない映像については、できるだけ文型を使う練習に利用するとよい。文型は、本巻のものばかりでなく既習のものも含める。練習は各場面ごとに行ってもよいが、かなり短い場面もあるので、ストーリーを4つに分けた区切りを利用すると、ストーリーもまとまりのあるものが見られるのでよいかもしれない。練習で映像を使う際注意したいことは、映像のカメラの目と、クラスにいる学習者の目が必ずしも一致しない、つまり「こそあ」の指示代名詞の使い方にくい違いが生じる場合があるということである。

シナリオに沿って

I	父	①	すみません。	動物園の入り口
		②	事務所はどこにありますか。	
	係員	③	この先の道のまん中に大きい木があります。	
		④	その木の向こうに事務所があります。	
		⑤	どうもありがとうございます。	

■語彙・表現

事務所：事業をしていくのに必要な仕事をする所。オフィス。「事務室」はふつう大学など機関の中の一部を占める部屋であるが、「事務所」はそれだけで独立した機能を持ったものであることが多い。

この先：進んでいく方向の前の方。

まん中：ちょうど中央にあたる所。→「道のまん中」「三人兄弟のまん中」

向こう：ある物を間においたその先の方。

映像 ⇒ 入り口　案内所　松の木

■文法

②事務所はどこにありますか。

「～は～にある」の疑問文である。文型にしたがって答えるとすると「(事務所は）木の向こうにあります。」となるが、ここでは、「大きい木」という聞き手にとって新しい情報を用いて答えたため、次の③④の文が出てくる。

③この先の道のまん中に大きい木があります。　④その木の向こうに事務所があります。

③は、「～に～がある」文である。③で「大きい木の存在」という新情報を提示し、④では、③の情報を用いて「事務所の存在」を述べている。

④の「その」は、文脈指示代名詞。前文で述べられた「木」をさす。

■留意点

〔文法〕の事項でも述べた②～④のような会話の流れは、実際の会話ではよく見られるものである。文型にしたがった練習を十分行ったあとは、このような会話の練習をすると、応用力をつける練習となる。

■生活・文化

大都市にはひとつ、または複数の動物園がある。この映画のように動物を種類ごとにオリで囲って飼っている形が多い。小学生以下の子を持つ家庭では、休日には遊園地やドライブ、ハイキング、海水浴などと並んで、動物園に出かける機会も多いようである。

II	父	⑥ あのう、坂口さんはどこにいますか。	事務所の前
	事務員	⑦ ああ、中にいますよ。	
	父	⑧ どうも。	

■語彙・表現

あのう：呼びかけ。（第2巻P.32参照）

ああ：相手の言ったことを承知したり、肯定したりするとき使われる。ここでは共通の了解事項として出された「坂口さん」という言葉を了解したことを表す。

どうも：「どうもありがとう」の省略形。敬意は薄い。

映像 ⇨ 曲り角　坂道

■文法

⑥あのう、坂口さんはどこにいますか。　⑦ああ、中にいますよ。

⑥は、「～は～にいる」を用いた疑問文。父は事務員がおそらく知っているだろうと思う「坂口さん」について所在を問うている。それに対して⑦で事務員は父に新しい情報を伝達している。終助詞「よ」は、聞き手が了解していないと考えるとき伝達内容を強調するために使われる。聞き手が了解していることについて使うと、話し手の主張、念押し、なじりの意味になる。（次ページ「ね」およびP.46参照）この場合、「よ」を抜いた文も可能。

■留意点

この場面ではじめて動詞「いる」が出てくる。「いる」を用いた文型は⑦のような省略された形でなく、「～は～にいます（か）」という基本的な形で疑問文・平叙文を練習させたい。はじめから⑦のような形ばかり練習すると「～に～がいる」の文型との区別が明確に理解されない場合も出てくる。

⑲の文あたりに至るまで、この映画の基本的な状況と人物設定が見る者にはっきりとは了解しにくい。⑥の「坂口さん」という名前も唐突に現れる。学習者によっては不安をおぼえたり混乱することもあるので、事前にストーリーについての予備知識を与えることも考えられる。

■生活・文化

II	父	⑨	おはようございます。	事務所の中
	母	⑩	だれもいませんね。	
	父	⑪	だれかいませんか。	
	坂口	⑫	いますよ。	
		⑬	やあー、いらっしゃい。	
	母	⑭	よろしくお願いします。	

■語彙・表現

おはようございます：朝のあいさつ表現。ここでは相手が見えない状態で言っているので、「だれかいませんか」と同様の働きをしている。

やあ：呼びかけ（親しい間で、あるいは目下に）。驚いたときにも使う。ここでは夫妻の姿を見て。

いらっしゃい：訪問をうけたときの歓迎の意味のあいさつ。商店などの呼び込みなどにも使われる。

よろしくお願いします：相手の好意を期待するときに使われる表現。これと対応するのは、「どうもお世話になりました」。㊵参照。

映像 ⇨ 音楽　ストーブ　つくえ　いす

■文法

⑩だれもいませんね。　⑪だれかいませんか。

「だれか」「だれも」+「いる」の文型。⑩は⑨に対して応答がなかったことから、母が判断した表現で、終助詞「ね」は、母が父も了解していることを述べていることを表す。⑪は「だれかがいる」ことを期待して発せられた質問である。答えが肯定（「いる」）なら、「はい」となる。否定の答えになるのは、特別の場合（応対すべき人が不在のことを通りがかりの人が指摘する場合など）になるが、「いいえ、だれもいませんよ。」となる。

■留意点

⑪⑫のように「だれかいませんか」の問いに対して「いますよ」と答えるのは、実際には不自然である。一般に不特定の人間の存在の有無を問う質問に対しては、「はい」がふつうであろう。また⑬⑭の会話から、この日の訪問が、前もって約束されていたものであることがわかる。「よろしくお願いします」は役に立つ表現なので、適当な状況例をあげて紹介するとよい。

■生活・文化

II	坂　口	⑮	お子さんはどこにいますか。	事務所の前
	父	⑯	外にいます。	
	坂　口	⑰	はあ、そうですか。	
	兄・妹・坂口	⑱	おはようございます。	
	兄	⑲	坂口さん、きりんはどこにいますか。	
	坂　口	⑳	きりんはここにいます。	
	妹	㉑	パンダはどこにいますか。	
	坂　口	㉒	ここにはパンダはいません。	

■語彙・表現

お子さん：(あなたの)「子ども」を聞き手への敬意をこめて言う言いかた。

外：ここでは室外、つまり事務所入り口の向こうがわの戸外。

はあ：相手の発言に対する応答を表す。アクセントに注意。

そうですか：納得したことを示す言い方。特に言うべきことがないときの受け答えにも使う。

きりん：アフリカに棲む哺乳動物。日本人の連想は「首が長い草食動物」。

パンダ：ヒマラヤから中国にかけての山地に棲むアライグマ科の動物。

■文法

⑮お子さんはどこにいますか。　⑯外にいます。

⑥⑦の会話と同じ「～は～にいる」を用いた文。

㉑パンダはどこにいますか。　㉒ここにはパンダはいません。

㉑は⑥⑮と同様の疑問文であり、⑦⑭のように答えることができる。しかしここでは答えとして否定文が提出されている。㉒は、パンダはいないが他の動物はいる、という含みを持ち、「(パンダは) ここにはいません」なら、ここにはいないが、他の動物園にはいるという含みを持つ。また⑳の「ここ」は案内地図の中のひとつの場所を指しているが㉒の「ここ」は、「この動物園」であることに注意。第1巻㊼「このホテル」参照。

■生活・文化

パンダ：映像でいわれているパンダは、妹が持っているぬいぐるみのパンダで、「ジャイアントパンダ」といわれる種類。その姿のかわいらしさから特に人気がある。中国原産だが、現在絶滅の危機にある。日本には、1972年にはじめて中国から贈られてきたが、現在は、雌雄2頭が上野動物園にいる。

III	坂　口	㉓ ほら、ここにはきりんがいます。 ㉔ あそこにライオンがいます。 ㉕ ライオンの向こうには、象がいます。	動物園内

■語彙・表現

ほら：注意を喚起するときに使う。

ライオン：アフリカ・西アジアに棲むネコ科の猛獣。

象：鼻と牙に特徴をもつ熱帯産の巨大な動物。インド象・アフリカ象

向こう：前の方。「～の向こう」は「～」で示される物をへだてた話者と反対側の地点。

映像 ⇨ トラ　タヌキ　オランウータン　シフゾウ　フラミンゴ

■文法

㉓ほら、ここにはきりんがいます。

㉔あそこにライオンがいます。

㉕ライオンの向こうには、象がいます。

主要学習項目の「～に～がいる」文の使い方。坂口が一家を案内して、いろいろな動物が見える所から、次々と紹介しているので、㉓㉕では場所「～に」のあとに「は」を付けて対比的に述べている。

■留意点

「いる」の存在文の練習に、この㉓～㉕の視点の動きをいっしょに利用するのもよい。その際、「ここ」「あそこ」などの現場指示代名詞に注意したい。あるまとまりの中でパターンを習得するということは、「ここには」の「は」などの単独での説明がしにくいものも自然な形で入れられるという意義もある。

■生活・文化

トラ：アジア特産のネコ科の猛獣。

タヌキ：イヌ科の中形哺乳動物で昔人を化かすと考えられた。

オランウータン：ボルネオ・スマトラ産の類人猿で、マライ語で「森の人」の意。

シフゾウ：東アジア原産のシカの一種。蹄は牛、頭は馬、体はろば、角は鹿に似ているがいずれでもないという意で「四不像」。

フラミンゴ：紅鶴。

Ⅳ	母	㉖	さあ、どうぞ。	昼食
	全　員	㉗	いただきます。	
	父	㉘	お母さん、お茶はありませんか。	
	母	㉙	はい、あります。	
	兄	㉚	お母さん、ほかに何かありませんか。	
	母	㉛	ジュースがありますよ。	
	兄	㉜	お母さん、もっと何かありませんか。	
	母	㉝	もう何もありませんよ。	

■語彙・表現

さあ、どうぞ：何かを促しすすめるときに使う。ここでは食事。

いただきます：↔「ごちそうさまでした」

お茶：緑茶、日本茶。→コーヒー、紅茶。

映像 ⇨ テーブル　弁当　すし　サンドイッチ　みかん　りんご　ビスケット　はし

■文法

㉚お母さん、ほかに何かありませんか。

㉛ジュースがありますよ。

㉜お母さん、もっと何かありませんか。

㉝もう何もありませんよ。

その他の学習項目「何か」「何も」。㉚で「ほかに何か」と言っているのは、㉘㉙で問われた「お茶」のほかに何かあるか、という意味。さらに㉜で「もっと何か」も㉛の「ジュース」のほかに何かの意味だが、すでに「お茶」「ジュース」が出されているので、さらに「もっと」という意味で、㉝の「もう」と対応している。

■留意点

㉘～㉝は、まとまった談話として練習させたい。特に「～はありませんか」という物の有無を尋ねる言い方は、場面II「だれかいませんか」と同様、「いる／ある」ことを期待したうえでの要求の意味をこめた質問の形である。

■生活・文化

お母さん(㉘㉚㉜)：親族呼称といわれているもので、父親が妻を呼ぶときも使う。これは、家族の中での呼称は、その家族内の最も年令の下の者から見た呼称になるためで、この一家の場合は妹から見た呼称になる。すなわち、お父さん、お母さん、お兄さん、となる。

V	妹	㉞ ここには何かいますか。	動物園内
	坂口	㉟ ええ、いますよ。	
	妹	㊱ 何がいますか。	
	兄	㊲ カンガルーがいますよ。	
	坂口	㊳ あれはカンガルーではありません。	
		㊴ ワラビーですよ。	

■語彙・表現

カンガルー：オーストラリア特産の有袋類の哺乳類。

ワラビー：カンガルーと同類、違いは大きさ。

映像 ⇨ さく　ニホンザル　バク　クマ

■文法

㉞ここには何かいますか。

㉟ええ、いますよ。

㊱何がいますか。

㊲カンガルーがいますよ。

「何か」と「何が」を含む談話型。しかし、この談話型は、使用頻度の高い型というわけではなく、あくまで「何か」と「何が」の違いを明確にするためのものである。㉞は、先行文脈として、「この囲いの前に見た囲いには動物は何もいなかった」ということが考えられる。前の囲いにも動物がいた場合は「ここにも何かいますか。」となる。

■留意点

㉞～㊲は、やや不自然な会話ではあるが、初級段階では規範的なものとしてよくみられる応答である。「何か」と「何が」の用法の違いを意識させるのによい。

■生活・文化

ニホンザル：世界の中で最北に分布している種類で、日本特産。

バク：サイに似た野獣。映画に出てくるのはマレーバク。

クマ：深山に棲む哺乳動物。映画に出てくるのは、日本産のツキノワグマだと思われる。

なお、動物名は生物学的分類では、カタカナで記される。

Ⅵ	父	㊵ どうもお世話になりました。	動物園の出口
	母	㊶ ほんとうに、ありがとうございました。	
	坂　口	㊷ いいえ。	
	兄・妹	㊸ どうもありがとう。	
	坂　口	㊹ またどうぞ。	

■語彙・表現

どうもお世話になりました：場面Ⅱの「よろしくお願いします」と対になる表現。相手の好意に感謝するときに使う。

ほんとうに：話し手の感情や評価などを表す表現を強めるときに使う。

いいえ：「いいえ、どういたしまして」の略。

またどうぞ：「またどうぞ来て下さい」の意味。訪問者に対しての別れのあいさつであり、好意のあらわれとして出ることば。

映像 ⇨ 出口　時計

■留意点

㊵～㊹の各文とも、あいさつの慣用表現としてよく使われるので、ぜひ覚えさせたい。またおじぎなどの非言語行動を観察させるのにも有効であろう。

㊸の「ございます」を省いた形の「どうもありがとう」は、第1巻㊸、第2巻⑲、第6巻⑩、同㉜、第13巻㊵　にあらわれる。いずれも目下に対してか、あるいは話者が子供である場合に限って出ている点に注意。

■生活・文化

別れのあいさつ：「さようなら」という表現はあるが、一般の多くの場合は直接的な別れの言葉は使われないことが多い。その場合には、「では(じゃ)また」、「失礼します」「お元気で」などの表現が使われる。

第5巻 なにを しましたか

— 動詞 —

目的・構成

1 目的

「～ます」形の用法とともに、人物・事物の〝動作・作用を表す〟動詞を導入する。（人物・事物の〝存在を表す〟動詞「ある」「いる」は、第2、4巻で扱っている。）それに付随して、基本的な助詞を学ぶ。

2 構成

前半は、男子学生(前田)の学生寮での生活をナレーションで提示する。後半は、教師の質問に答えるという形式で、前田が自分の行動を過去形で語る。

		文	場面	ストーリー	学習項目	カウント
I	1	①～	寮（前田と加藤の部屋・ほか）	夜：勉強している前田と加藤。前田は寝るが、加藤は勉強を続ける。朝：起きる前田と寝ている加藤。食堂、洗面所。	「～時です」 「～は～です」 「まだ～ません」 「～を～ます」	
	2	④～				
	3	⑦～				
II	1	⑪～	寮	寮を出てバス停へ向かう前田。バスに乗り、降りて歩き、教室に入る。	「～を出ます」 「～で～へ行きます」 「～で～に乗ります」 「まだ～ません」 「～が／に／を／まで～ます」	
	2	⑬～	バス停			
	3	⑮～				
	4	⑲～	路上 教室			
III	1	㉑～	教室内	授業中：前の晩の行動について教師が質問し、前田が答える。	「何を、何の、何時から／まで／に、どこで、何分」 「いいえ、～ませんでした」 「いいえ、～ました」 「寮から学校まで」 「～分かりました」	
	2	㉗～				
	3	㉙～				
	4	㉝～				
	5	㊵～				
	6	㊸～				

学習項目

1　主要学習項目

❶ 動詞と「～ます」形

この巻では、「～ます」の形で動詞を提出している。「～ます」は、動詞や動詞型の活用形をもつ助動詞（れる／られる、せる／させる）の連用形に接続する。文体的に丁寧さをそえるもので、敬意を表すわけではない。「～ます」の変化形は、「～ます」、「～ません」、「～ました」、「～ませんでした」である。

❷ 動詞の用法

動詞には大別して、動作動詞と状態動詞とがある。この巻は、動作動詞の導入を主眼にしており、状態動詞は「㊷時間がありませんでした。」のみである。

(1)　現在形の用法

状態動詞の現在形が「現在・未来を含む状態」を示し、「～ている」の形をもたないのに対し、動作動詞の現在形は、「(近)未来の動作・作用」を表す。つまり、現在形では「現在の動き」を表現できない。「現在の動き」を表すには、「今、本を読んでいます。」のように、「～ている」を用いなければならない。

このように、状態動詞と動作動詞の現在形には用法上、大きな違いがあるが、以下に示すような現在形の用法に関しては、両者の間に区別はない。

1．一定条件下で必ずおこる動作・作用（遅く起きると、母が怒ります。）
2．繰り返しおこる動作・作用（月二回、病院へ行きます。）
3．習慣的動作・作用（毎日、学校で勉強します。）
4．一般的真理（地球は太陽のまわりをまわります。）
5．動作・作用の単なる叙述（ナレーション、脚本、せりふのト書き）

1～4は一般に「超時間」「一般時」などと呼ばれている。

この映画には、ナレーションの直後に、その動作をする場面がいくつかあるので、それを「(近)未来」の用法ととることができるかもしれないが、やや無理があるだろう。ほとんどが、5の用法である。「習慣」の用法に関しては、「毎朝」「いつも」などの副詞をつけると、その性質がはっきりする。

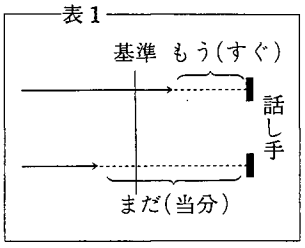
この映画の前半では、ナレーションによって動詞を提出しているので、主語は三人称ばかりである。実際の練習では、一人称の練習も必要になる。意志動詞(動作主の意志で左右できる動詞)が話し手の(近)未来を表すとき、話し手の「これからの動作に対する意志」が入ることがある。たとえば「私はビールを飲みます。」には、「～さんはジュースを飲むが、私は～」というニュアンスが入ることがある。

ここでは現在形の否定は、「～はまだ～ません。」の形でしか提出されていない。「まだ～ません」は「もう～ます」と対応する表現である。事柄が、話者の意識中の基準点を越えている場合に「もう」、越えていない場合に「まだ」を用いる。

以下のような用法がある。(森田良行『基礎日本語』を参考にした。)

1．事柄が基準点を越してしまったか否かの判断。
（完了・非完了の意識）

2．事柄が話し手側に接近し、達するまでの期間を考える。(→表1)



3．事柄が基準点に達したのにさらに事柄を加えてく。→「もう一回」
事柄が基準点に達するまでには、さらに事柄を加えていく。→「まだ寒くなる」

4．「まだ」のみの用法。事柄(A)が基準点に達していないため不十分、不満足な状態であるが、Bと比較すれば、より基準点に近い。→「まだましだ」

(2) 過去形の用法

1．過去の動作・作用、および完了した動作・作用（もう、食べました。）

2．過去における状態変化が現在も続いている場合（この花はずいぶん大きくなりました。）

3．過去における一定の期間に繰り返された動きや、もたれていた能力の表現（小学生のときは、ずいぶん勉強しました。）

以上が基本的な過去形の用法であるが、初級ではまず1をしっかり学習させる。

場面Ⅷ ⑯バスが来ました。

これは、この映画では、バス停の前にバスが走ってきてとまる場面になっているので1の用法として処理されているが、やって来るバスを見て、「来た、来た。」と表現することがしばしばある。これは「発見した」という意識によるものだろう。似ている例では「あっ、あった。」(第12巻 ㊶ 参照) などがある。これらは特殊な用例として、やがては学ぶべきものであるが、通常、初級段階ではふれない。以上、『日本語の文法(上)』(寺村秀夫、国語研) などを参考にした。

❸ この映画で取り上げた動詞

この巻で扱われている動詞を教授上注目すべき点から分類する。

(1) 対表現になっているもの

ふたつの動詞の意味を対照させると学習させやすい。

寝る ②③㉙㉚ / 起きる⑤⑥㉛㉜
入る⑳ / 出る⑪㊸㊹
乗る ⑭⑰ / 降りる⑱㊼㊽
行く⑬ / 来る⑮⑯㊺㊻

(2) 類似した行為の表現になっているもの

動作の働きかけがおよぶ対象物を明確にして、類似点と相違点を学ばせる。

食べる⑦⑩㉟㊱㊲
飲む ⑧⑨㊳㊴

(3)　精神活動を表現するもの

対象物を明確にして学習する。ただし動作主の動作によっては「新聞を読む」にも「新聞を見る」にもなることに注意。

見る㉗㉘
読む㊵㊶

(4)　その他（何らかの特徴で分類できなかったもの）

する（勉強する）㉑㉒㉓㉔㉕㉖　歩く⑲　着く㊾㊿　かかる(51)(52)　洗う㉞
ある㊷（状態動詞）

「する」にはサ変動詞をつくる機能がある。それにはいくつかのパターンがある。「勉強する」は〝漢語名詞＋する〟のパターンである。この場合、原則的に動作概念をもつ語にしかつかわれない。また、「勉強をする」のように、〝日常生活のさまざまな意志的行為の結果〟を表す名詞を「を」で受けて、「日常の動作・行為・活動をなす」ことを示す。この表現は、サ変動詞化しやすい。しかし、「パーティー・会議・試合」のように、グループの行為によって成立するものは、ふつう、サ変動詞にならない。

❹ 助詞

この巻で新しく扱っている助詞は「を、で、に、へ、から、まで」である。「は」と「が」の違いは、この巻では積極的に取り上げられていない。

「を」

(1)　動作・作用の向けられる対象を示す。

～を食べる／飲む／洗う／見る／読む

対象物を問うときは「何を」になる。

(2)　移動や離反の起点（離れる場所）を示す。移動・離反を表す自動詞が続く。

～を出る／降りる　（第9巻参照）

「移動や離反の起点」を示す助詞には「から」もある。動く能力のない物体が主語のときは「から」を使う。例)「財布から金を出す。」動く能力をもつもの（人・動物・乗り物など）が主語のときは、「から」、「を」両方使える。ただし、「から」には、「起点から、ある境界を越えて、別の場面へと移行する」意識がある。そのため、「から」を用いたときは動作より起点を強調しているように感じられる。一方「を」は、「移動する場面や離れ去る地点(移動の行われる地点)」を表現しようとする意識が強い。そのため、「起点」だけをとりたてるような機能はもたない。「別の場面＝帰着点」を意識するのは「から」なので、到達点も同時に言いたいときは「から」をつかう。例）部屋から庭へ出た。

(3) 動作性の名詞をうけてひとつの動詞としてはたらく。

（勉強）をする

「何を」を用いて行為を問うが、「何をしますか」という問いかけでは必ずしも「～をします」という答えは返ってこない。この質問は、行為一般を問うのでたとえば「映画を見に行きます。」という答えも十分ありうる。

「で」

(1) 道具、手段などを表す。

バスで

この巻で扱われているのは「バスで」のみであるが、「おはしで」「鉛筆で」なども映像から受けとれる。

手段・道具を問うときは、「何(なん)で」になる。

(2) 動作の行われる場所を表す。

ここ／食堂／学校の近くで

動作が行われるときは必ず行われる場所があるので、「～で」は動作・作用を表すあらゆる文に付きうる。この点でほかの助詞と異質である。場所を問うときは、「どこで」を用いる。

「場所」を示す助詞を勉強するとき、しばしば混乱するものに、「に」と「で」がある。

原則的に「に」は〝事物が存在する場所〟を表し、「で」は〝動作・作用が行われる場所〟を表す。したがって、たとえば「向こうに山が見える。」というような〝物の存在が知覚されること〟を表す文では「に」を「で」におきかえられない。「そこにごみを捨てた。」という文は「に」を「で」にかえても成立するが、意味は異なる。「そこに捨てた」場合はごみは「そこ」にあるが、「そこで捨てた」場合は、捨てるという動作をした場所が「そこ」であるというだけで、ごみのある場所はわからない。

「に」

(1) 時刻・期日の語に付いて、行為・作用の成立時点を表す。

11時／7時／8時／9時10分前に

「あした、明朝、午後、昔、最近、現在、毎日」などには付かない。「から、まで」は動詞に続いて「そのことに気付くまで」などの表現があるが、「に」は動詞には続かない。

時刻を問うときは「何時に」になる。

(2)　場所を表す語に付いて移動の方向や帰着点を示す。（第9巻参照）

～に乗る／入る／着く

この巻で扱われているのは、「帰着点」である。「乗る」「入る」は、起点を示す「を」をとる「降りる」「出る」と対になっている。（第9巻参照）

「へ」

行く先を示す。

～へ行く／来る

行く先を示す「へ」は、現在ではほとんど「に」と交代可能になっている。しかし、基本的には、「へ」は進行する方向の意識、「に」は帰着点の意識がある。使用頻度は「に」のほうが高いようである。「に」はほかにも多くの用法をもっているので、初級段階では混乱をさけるために、まず「へ」で定着をはかった方がよい。

また、「コンサート、音楽会、映画」というように、イベントをさして〝行く〟と言いたいときは、「に」を用いるのが原則である。（第10巻参照）

「行く先」を問うときは「どこへ」になるが、この巻にはでていない。

「から」、「まで」

「～から」は動作・作用・行為・範囲などの起点、「～まで」は到達点を示す。「～から～まで」によって、範囲が設定される。

(1)　時刻・期日について、時間の範囲を設定する。

9時から11時まで

「時間の範囲」を問うときは「何時から何時まで」になる。

(2)　場所の語について、動作(移動)の範囲を設定する。（第9巻参照）

寮から学校まで

(1) (2) のように、この巻では「～から～まで」の対応で提出されている例が二例あったが、単独でも使われる。「～まで」に関しては、⑲に「学校まで歩きます。」がある。「～まで」は、「へ」、「に」と違って、〝継続〟の意識が強い。

「の」（第1巻参照）

ここで用いられている「の」の用法は、次のようである。

(1)　体言と体言を結びつけて、対象を指定する。問いは「何の～」になる。

数学の勉強

(2)　体言と体言を結びつけて、場所を指定する。問いは「どこの～」になる。

学校の近く

2　その他の学習項目

時の表現

「時」の表現には、「時刻」の言い方と「時間」の言い方がある。

「時刻」は、「(～時)です」の文型で表され、助数詞は「時」と「分」が用いられる。イチ、ニ、サン、……の系列の数え方を用いるが、イチ時―イッ分のように時と分とで発音のちがうものがある。ほかに、ヨ時ヨン分、ロク時ロッ分、シチ時ナナ分、ハチ時ハッ分、ク時キュウ分、ジュウ時ジッ分がある。また、「ふん」と「ぷん」のちがいにも注意が必要である。「ふん」より「ぷん」になるものの方が多い。「ふん」は末尾が2、5、7、9のものである。

時刻の表現として学習すべき表現としては「半」「過ぎ」「前」などがある。

「(～時)です」という形ではなく文中で時刻を示す場合、「に」、「から」、「まで」などの助詞をとる。

「時間」の表現というのは、所要時間や継続時間を示す表現のことである。

「時間」の助数詞は、「時間」と「分(間)」である。数え方の系列は時刻と同じである。「7時間」は「シチ」、「9時間」は「ク」がよいと思われるが、「ナナ」「キュウ」を使う人もいるようである。

所要時間の表現は、一般に「(家から駅まで)～です。」とか「～かかる」という形で示される。特に「かかる」を使うときは、「50分も」「50分は」「50分しか」などの表現が可能だが、ふつうは、助詞をとらずに「50分かかります」となる。

ほかに必要な表現としては、「ちょっと」(50分ちょっと)、「5、6分」などがあるだろう。

「時間」の表現には「一時間、(勉強した)。」という形がある。この映画では扱っていないが、この形は、継続時間を表す場合が多い。「かかる」の表現では、ふつう「分間」は用いられないが、この表現の助数詞は「時間」、「分」、「分間」である。「かかる」と同様に、「は」「も」「だけ」「しか」などは付きうるが、ふつうは、助詞をとらずに、「一時間、勉強した。」と言う。

なお、一時、一分、一秒など時刻の表現については、(第7巻参照)
一時間、一分など時間の表現、「今日、毎日」などの時の表現については、(第10巻参照)

使用にあたって

1　効果的な使い方

この映画は、前半のナレーション部分と、後半の質問応答の部分とに分かれる。

前半では、動詞の概念・意味の理解をさせ、その後、質問応答の形で練習ができる。その際、「毎日」などの副詞を入れていくことで、現在形の「習慣」の用法も定着させ、自分自身のことを語らせることもできる。

また、ナレーションのない部分、あるいは、ナレーションと違った表現が可能な部分をできるだけ探しだして、言う練習がある。ただし、「～ている」などの未習の表現も多数、作りうることに留意。

後半の質問応答の部分については、「教師」と同じ質問をする練習ができる。また、映画と同じように、学生に昨晩からの行動について言わせることもできる。それに対し、さらに深い質問をしていくこともできる。「～ません」の形は、「まだ～ません」の形でしか提出されていない。教授者は「まだ～ません」の定着をはかるとともに、「いつも～ません」などの練習をさせる必要があるだろう。「～ません」では、助詞「を」が「は」になる傾向が強いことに注意が必要。

この映画で覚えた単語を手がかりに、語彙を増やす練習も必要であろう。

2　トピック

寮

寮には、学生寮、独身寮、女子寮、男子寮などがある。学生寮は文字どおり学生のためのものである。大学、各種専門学校、また数は多くないが、全寮制の高校もある。独身寮というとふつう、企業が持っている独身男性のための寮である。女性のための独身寮は一般には女子寮という。

寮の食堂は、ふつう、セルフ・サービスである。各自で食事をテーブルまで運んで、食べ終わったらまた各自で片づける。

寮の部屋は、大体、1～2人部屋である。映画では、ベッドやテレビがあったが、ふとんで寝る寮や、また、二段ベッドのところもある。テレビはロビーにしかないところもある。細則、形態などはさまざまだろうが、特に女子寮では、門限が厳しく決められているところも多い。

シナリオに沿って

I—1	ナレーション	① 11時です。 ② 前田さんは寝ます。 ③ 加藤さんはまだ寝ません。	前田と加藤の部屋
I—2		④ 7時です。 ⑤ 前田さんは起きます。 ⑥ 加藤さんはまだ起きません。	同上

■語彙・表現

寝る：ここでは「眠る」とほぼ同義である。「横たわる」、「横になる」という意味でも使われる。

起きる：ここでは「目をさまし、体をおこす」ように映されているが、「目をさます」「体をおこす」という意味だけでも使われる。

映像 ⇨ テレビ （目ざまし)時計 ベッド

■文法

①11時です。 ④7時です。

時刻の表現。②、⑤の文に入ると、「～時に」という形になる。文②、⑤は、その文だけをとらえると、現在形の用法の5(動作・作用の単なる叙述)のようであるが、「～時に」をいれると3(習慣の表現) ととらえられる。時刻にかかわる表現として、「今～時です」「～時半」「～分過ぎ／前」などがある。

③まだ寝ません。 ⑥まだ起きません。

「まだ～ません」にはひとつの事態がその時点までに実現していないさまを表す用法がある。また、そのような非完了の意識ではなく、事態が話し手のところにまで達する期間を考える用法がある。この「まだ」はしばしば「当分」を含んだニュアンスをもつ。この③、⑥は、上記の用法のどちらともいえる。

②、③、⑤、⑥の「～ます」はすべて現在形の「動作・作用の単なる叙述」の用法。

■留意点

③「加藤さんはまだ寝ません。」の映像は、「加藤さんは勉強しています。」とも表現できる。このように教授者は柔軟に画面を利用することを心がけてほしい。ただし、現在の状態を表現するためには「～ています」を用いなくてはならない。

■生活・文化

スリッパ：室内では、はだしかスリッパがふつうである。来客にスリッパをすすめる家庭は多い。一般にたたみの部屋では、スリッパを脱ぐ。

I—3	（セリフなし） 洗面所の入り口で前田と加藤がすれ違う。	洗面所
	ナレーション ⑦ 前田さんはパンを食べます。 ⑧ ミルクを飲みます。 ⑨ 加藤さんはみそしるを飲みます。 ⑩ ごはんを食べます。	食堂

■語彙・表現

食べる：ここでは、固体をかんで飲む意味。具体的な物ではなく、「朝ごはん」、「大めし」などを対象としてとることもある。→（食う）

飲む：のどを通して食道へ送りこむ動作をさすので液体についていうことが多いが、「薬をのむ」「飴をのむ」のように固体についても使う。対象語をとらない場合は、ふつう、アルコールをさす。

映像 ⇨ 洗面所　タオル　はし　おわん　茶わん

■文法

⑧ミルクを飲みます。　⑩ごはんを食べます。

主語が省略されている。⑧は⑦によって、⑩は⑨によって主語が提示されており、しかも映像によって主体が明らかなので、省略されている。日本語では主語の省略が多いことに注意する。⑧「ミルクを飲みます。」は、⑨「加藤さんはみそしるを飲みます。」と対比させて、「前田さんはみそしるを飲みません」と言うことができる。さらに対比を強めて「前田さんはみそしるは飲みません。」と言うこともできる。このように「を」にするか「は」にするかは微妙なところがあるので注意する。

⑦、⑧、⑨、⑩の「～ます」はすべて、現在形の「動作・作用の単なる叙述」の用法である。

■生活・文化

一般に日本人の主食は米である。しかし、近年パン食が非常に普及し、特に朝食にパンを食べる家庭は多い。パンは特に女性に人気がある。和食といえば、みそ汁、漬け物などが欠かせない。パンといえば、コーヒー、サラダが思いうかぶ。ここ数年の健康食品ブームで、穀物類などを豊富に使う日本食が見直されている。

I—3	（セリフなし）	新聞を読もうとするが時計を見てやめる。	新聞ラックの前
	（セリフなし）	学校へ行く準備をする。	部屋
II—1	ナレーション	⑪ 前田さんは寮を出ます。 ⑫ 8時です。	
II—2		⑬ 前田さんはバスで学校へ行きます。	

■語彙・表現

寮：学生や企業や店舗の従業員などが、集団で生活するためにつくられた宿舎。「トピック」参照。

出る：内から外への移行動作を表す。「～に出る」は、移行先を問題にした場合で、「～を出る」は、出発点を問題にした表現である。

行く：ここでは、ある事物が話し手側、あるいはその現在位置から遠ざかっていく移動動作を表す。話者の視点によってかわる「行く、来る」については第14巻参照。

映像 ⇨ 新聞　腕時計

■文法

⑪前田さんは寮を出ます。

この「～ます」は「動作・作用の単なる叙述」の用法。「を」は「出どころ」を示す助詞である。「～を出る」は行く先を問題にしない表現で、どこかへ行くことを明確にしたいときは「～を出て～へ行く」の形になる。「を」は移動の場面を表現の対象とする意識が強いので、離れる場所を強調したいときはしばしば「から」を用いる。

⑬前田さんはバスで学校へ行きます。

この「～ます」が、「単なる叙述」の用法であるか、「習慣」の用法であるかは微妙である。いずれにしても映像にはバスが現れていないことに注意する。「で」によって通学手段がバスであることが示されている。これは、電車などにおきかえられる。「徒歩で」も可能だがふつうは「歩いて」を使う。⑬は「前田さんは学校へバスで行きます。」も可能。語順が変わるとき、先行するものが強調されるのが原則なので、この場合は「学校」が手段である「バス」より強調されていると考えられる。⑬はニュートラルな表現である。

II—2	ナレーション	⑭ 毎朝ここでバスに乗ります。	路上
II—3		⑮ バスはまだ来ません。	バス停
		⑯ バスが来ました。	
		⑰ バスに乗ります。	

■語彙・表現

毎朝：(毎晩・毎日・毎週・毎月・毎年)　毎昼はない。助詞はつかない。

来る：ここでは、ある事物が話し手側、あるいはその現在位置へと近づく移動動作を表現。話者の視点による「行く、来る」の問題については第14巻参照。

映像 ⇨ バス停

■文法

⑭毎朝ここでバスに乗ります。

この「～ます」は「習慣」の用法。このように「毎朝」などの副詞をつけると習慣であることが明確になる。「で」は「動作・作用がおこる場所」を示しているので、ここでは「存在する場所」を示す「に」との交代は不可能。「行く先」を示す「に」はしばしば「へ」と交代可能である。しかし、「乗る」は「地面の上に置かれたあまり高くない物体(移動可能な物も含む)の上に、床面から位置を移す」ことなので帰着の意識が強い。したがって「に」を用いる方がよい。

⑮バスはまだ来ません。

「バスはまだ来ません。」を使うときには、「今7時だが、6時50分のバスはまだ来ません。」という場合と、「今7時だから7時20分のバスはまだ来ません。」のふたつがある。前者は、ある事態がその時点までに実現していないこと、すなわち非完了を問題にしている表現で、後者は非完了ではなく、ある事柄が話者のところまで達する期間を問題にしている表現である。非完了の表現としては、「まだ来ません。」より、「まだ来ていません。」を用いた方がより明確で、かつ運用範囲が広い。

⑯バスが来ました。

この「～ました」は「動作・作用の完了」の用法である。この映像は、バスが走ってきてとまるようにできているが、遠くから走ってくるバスを見て、「バスが来ました。」と言うことはしばしばある。これは発見したことによって、完了の意識が強まるためであろう。

⑰の「～ます」は「単なる叙述」の用法である。

II—3	ナレーション ⑱ バスを降ります。	バス停
II—4	⑲ 学校まで歩きます。	路上
	⑳ 教室に入ります。	教室の前

■語彙・表現

降りる：↔(乗る) 本来は、上から下へ移るという意味。ここでは〝乗り物から出る〟ということ。電車などは「上から下」とはいえないが、やはり段差を感じさせる。

歩く：→(走る)「通過空間」を表す「～を」「～から～まで」をとる。「～へ歩く」はいえない。(～へ歩いて行く)

入る：↔(出る) 外部にある事物が特定の場所・範囲の中に移るということ。

映像 ⇨ ワイパー 並木通り

■文法

⑱バスを降ります。

この「～ます」は「単なる叙述」の用法である。「バスを降りる」とも「バスから降りる」とも　える。しかし、「から」を用いたときは、「バス」が強調されるので、動作・作用を客観的に表現しているこの場面にはあわない。

⑲学校まで歩きます。

「～まで」は人や事物の数量、時間・空間における継続した作用や状態、それらの範囲の限界点、帰着点を示す。したがって、後続の動詞はふつう、継続動作動詞、状態動詞である。瞬間動詞が続くときは、その動作が継続するという意味を帯びる。

⑲は、「歩いて学校まで行きます。」「歩いて学校へ行きます。」とも言いかえられる。ただし、「まで」を使うときは「そのあとタクシーに乗ります。」というようなことが期待される。

⑳教室に入ります。

この「に」は帰着点を表すもので、しばしば「へ」で表現されるが、「入る」の性質上、「に」で定着をはかった方がよい。起点の「から」を伴って「廊下から教室に入ります。」ということができる。この場合、「を」格との交代は不可。「廊下」と「教室」という違う空間への移動問題にしているからである。「その門を入ってください。」という表現があるが、この「を」は経由点を示しているので、帰着点の「に」といっしょに使われない。

III	教　師　㉑　前田さん、ゆうべ何をしましたか。 前　田　㉒　勉強をしました。 教　師　㉓　何の勉強をしましたか。 前　田　㉔　数学の勉強をしました。	教室

■語彙・表現

ゆうべ：(昨夜、昨晩、きのうの夜) 会話では「きのうの夜」もよく使う。「も」「は」「から」などはつくことがあるが、ふつうは、助詞をとらない。

映像 ⇨ 先生　学生　授業　黒板

■文法

㉑前田さん、ゆうべ何をしましたか。

「前田さん」は呼びかけ。呼びかけのあとはふつう主語を言わない。対象語を問うとき「何を」を用いるが、「何をしましたか」は過去の行動一般を問うのであって、必ずしも「～を～しまた」という形の答えにはならない。

㉓何の勉強　㉔教学の勉強

体言類と体言類を結びつけるこの「の」は、両者の体言の関係を示している。ここでは、勉強する「対象」を指定している。「何の」は「対象」を問う形である。たとえば「歯の治療」「自由の破壊」など。

■留意点

「何」を使った疑問文では、返答の際「はい、いいえ」は必要ない。

「なに」…「何を、　何が」

「なん」…「何時、何度、何人…(何～)」、「何で」

■生活・文化

「あなた、君」などを最近では使う人が増えてきたといわれるが、ふつう、話し相手にむかっては用いない。特に目上の人には使わない。相手の注意をひきたいときは名前などで呼びかける。夫婦間で、妻が夫を「あなた」と呼ぶのはごく一般的である。

III	教　師	㉕	何時から何時まで勉強しましたか。	教室
	前　田	㉖	9時から11時まで勉強しました。	
	教　師	㉗	テレビを見ましたか。	
	前　田	㉘	いいえ、見ませんでした。	
	教　師	㉙	何時に寝ましたか。	
	前　田	㉚	11時に寝ました。	

■語彙・表現

見る：目の働きで物の存在・形・様子・内容などを知る。「テレビ／新聞を見る」は、「内容を知る」。それに対して、自分の意志とは関係なく、目に存在が感じられるときは「見える」を使う。（第9巻参照）

■文法

㉕何時から何時まで　㉖9時から11時まで

「～から～まで」が時刻・期日の語に付いた場合、継続している動作・作用・状態の範囲を時間的に区切る。「9時から11時まで仕事をしています。」と言った場合、おそらく、11時過ぎには仕事をしていないだろう。「4月から10月まで東京にいます。」と言った場合は、10月も東京にいる、ともとらえられる。これは　11時5分などは「11時」という表現からはずれ、「10月」というのは、10月31日までその範囲に含まれるという意識による。

㉘いいえ、見ませんでした。

対象物「テレビ」を省略した形で表現している。㉗㉘の対応はごく自然なものである。ここに対象物を表現すると「テレビは」という形になるのが自然である。

㉙何時に　㉚11時に

「何時に」も「何時から何時まで」も時間に関する問いである。「～に」はある行為がおこなわれた時刻、いわば〝点〟を尋ねている。「～から～まで」は、ある行為の継続時間、いわば〝線〟を尋ねている。

■留意点

㉖「11時まで」、㉚「11時に」はどちらも〝11時ごろ〟の含みがある。「何時に寝ましたか。」ときかれて、「11時10分に寝ました。」というような答えはあまりきかれない。おそらく、30分単位で答えるだろう。〝半〟という表現は重要である。

III	教　師　㉛　けさは何時に起きましたか。 前　田　㉜　7時に起きました。 教　師　㉝　それから何をしましたか。 前　田　㉞　顔を洗いました。 　　㉟　食堂で朝ごはんを食ました。	教室

■語彙・表現

けさ：(↔今夜)「は」「も」「から」などは付きうるが、ふつうは助詞をとらない。

それから：(その次に、それに続いて、その後(あと))ここでは「それ以来」とは異議。

朝ごはん：(昼ごはん、晩ごはん、夕ごはん)朝食、朝めし、という表現もある。「朝食をとる」「朝めしを食う」と動詞を変えて用いられる。

顔を洗う：文字どおり〝顔を洗う〟場合と、〝歯を磨く〟行為などを含めていうときがある。「歯を洗う」はいえない。

■文法

㉜7時に起きました。

㉛「けさ何時に起きましたか。」に対する答えとしては「7時です。」という表現が可能である。「7時でした。」というと「よくよく思い出してみると」というようなニュアンスが加わるようである。

㉟食堂で朝ごはんを食べました。

〝朝ごはん〟は〝朝食〟の意味なので、パンを食べても〝朝ごはんを食べた〟と言える。この〝食べる〟のように、パン、ケーキなどの具体物ではなく、抽象的な名詞をとることもある。たとえば、「大めしを食う」など。「で」は、行動の行われた場所を示しているので「存在」の場所を表す「に」との交代は不可能。㉟「朝ごはんを食堂で食べました。」も可能な語順で、この場合は、特に「朝ごはん」が強調されていると考えられる。

■留意点

朝の行動、前の晩の行動などについて、「それから何をしましたか。」の形での質疑応答は、「～ました」の定着をはかるために有効である。ここでは「何をしましたか」「～を～ました」という対応になっているか、実際には、それ以外の動詞とも対応する。

III	教　師	㊱	何を食べましたか。	教室
	前　田	㊲	パンを食べました。	
	教　師	㊳	コーヒーを飲みましたか。	
	前　田	㊴	いいえ、ミルクを飲みました。	
	教　師	㊵	新聞は、読みましたか。	
	前　田	㊶	いいえ、読みませんでした。	
		㊷	時間がありませんでした。	

■語彙・表現

ミルク　：(牛乳) 契茶店のメニューなどでは「牛乳」ではなく「ミルク」。

読む：ここでは「文字、図などの意味を理解するために見る」という意味。「文字、文章などを見て声に出す」とは違う。

■文法

㊱何を食べましたか。

㉟「食堂で朝ごはんを食べました。」を受けてさらに話題を深めている。「朝ごはん」が「朝食」の意味であるから、このような質問が可能になる。

「何をしましたか」に対しては、「～をしました」の形で答えなくてもよいが、「何を食べましたか。」のような質問には、その動詞で答えなくてはいけない。

㊴いいえ、ミルクを飲みました。

疑問詞を使っていない質問に対しては、原則として〝はい、いいえ〟で受ける。ここでは、質問に対して〝いいえ〟のみでうけて、そのあとに、質問されたことにかわる自分の行動を続けて答えている。

㊵新聞は読みましたか。

「は」には本来主体や対象、行為・作用・状態などを特にとりたてて述べる性質がある。㊵の「は」は「新聞」という「読む」の対象をとりたてて、主題として提示している。映画中では「新聞は」のあとにポーズをとり、「とりたて」を強調している。

㊷時間がありませんでした。

「ある」は〝有無〟、あるいは所有〟を表す。　この巻で唯一の状態動詞。すなわち、現在形「あります」が(近)未来でなく、現在の状態を表す。「ある、いる」は第2、4巻で扱われているが「時間が…」という形では初出である。

III	教　師　㊸　何時に寮を出ましたか。 前　田　㊹　8時に出ました。 教　師　㊺　何で学校へ来ましたか。 前　田　㊻　バスで来ました。 教　師　㊼　どこでバスを降りましたか。 前　田　㊽　学校の近くで降りました。	教室

■語彙・表現

近く：↔(遠く)「近い」から派生した名詞。近い、遠い、多いは、名詞を修飾するとき、「近くの～」「遠くの～」「多くの～」となることが多い。ここでは、「そば」と同義。

■文法

㊺何で学校へ来ましたか。　㊻バスで来ました。

「何で(なんで)」で、手段・方法を問う。答えとしては「電車／私鉄／～線／自転車で」などがある。「徒歩で」という答えも可能だが、ふつうは「歩いて」と言う。

㊸寮を出ましたか。　㊼バスを降りました。

この「を」は「移動動作の起点」を示す。どちらも「から」と交代可能である。しかし「寮から出る」だと「寮」が強調されて、「学校へ行くプロセス」として「寮を出る」というニュアンスがなくなる印象をうける。「バス」についても同様である。

㊽学校の近くで（バスを）降りました。

「飛行機から地上に降りる」は言えるが「飛行機を地上に降りる」は言えない。これは「から」には〝「別の場面」へと移行する〟意識が、一方「を」には「移動する場面や離れ去る地点」を表現の対象とする意識があるためである。したがって、「から」は帰着点を示す「に」と呼応しやすい。「を」は移行前後で場面が変わらないので、帰着点ではなく、その移動の行われる場所「で」と呼応する。

㊽学校の近く

これは「場所の指定」の「の」である。この種の表現には「京都の大学」、「机の傷」という例のように、「AのB＝AにあるB」と言いかえられるものが多い。「学校の近く」はこの形では言いかえられないが、いったい「どこに近いのか」という「どこ」にあたる場所を指定している。

III	教　師　㊾　何時に学校に着きましたか。 前　田　㊿　9時10分前に着きました。 教　師　51　寮から学校まで何分かかりましたか。 前　田　52　50分かかりました。	教室

■語彙・表現

前に：(10分前に↔10分後に)「9時10分後につきました。」という表現はない。

かかる：所要時間を伝える表現。ふつうは、助詞をとらずに、時間が直接、先行する。→(動詞(基本形)十のに～分かかる)「学校へ行くのに50分かかります。」

■文法

㊾何時に学校に着きましたか。

「へ」と「に」の区別はなくなってきているが、原則的には「へ」は方向、「に」は帰着点を示す。したがって、「着く」に関しては「に」で定着をはかった方がよいだろう。「学校に着く」に対しては、「学校へ行く、来る」が問題になるだろう。「着く」はいわば、「点」で、「行く、来る」は「線」である。「行く、来る」を考えるには、「方向」が非常に重要になってくるが、「着く」には方向は関係ない。「行く、来る」に関しては、話者と相手の距離などが微妙に関わってくる。たとえば、「明日、何時に学校へ行くの。」と言う質問でも、母親が言った場合には家を出る時間、友達が言った場合にはおそらく学校に着く時間を答えるだろう。

㊿9時10分前に　52)50分かかりました。

㊿は時刻、52)は（所要）時間の表現。

■留意点

「9時10分前に」は『くじじっぷんまえに』、「9時10分」は『くじじっぷん』である。この巻では、「じっぷん」「ごじっぷん」を採用しているが「じゅっぷん」「ごじゅっぷん」も許容範囲としてよいだろう。

『日本語教育映画　基礎編』 作成関係者

（指導・助言）日本語教育映画等企画協議会委員 （所属は在任当時のもの）

池　尾　ス　ミ　（米加十一大学連合日本研究センター）
石　田　敏　子　（国際基督教大学）
今　田　滋　子　（国際基督教大学）
木　村　宗　男　（日本語教育学会）
工　藤　　浩　（国立国語研究所）
窪　田　富　男　（東京外国語大学）
斎　藤　修　一　（慶應義塾大学国際センター）
佐久間　勝　彦　（東京外国語大学）
杉　戸　清　樹　（国立国語研究所）

（企画）国立国語研究所日本語教育センター関係者 （在任当時関係者も含む）

野元菊雄　　南　不二男　　川瀬生郎　　日向茂男　　田中　望
清田　潤　　中道真木男　　林　　大　　武田　祈　　水谷　修

（制作）日本シネセル株式会社

この『教師用マニュアル』の企画・校閲・編集は国立国語研究所日本語教育センター日本語教育指導普及部教材開発室の日向茂男、清田潤が担当した。全巻にわたっての企画・校閲には中野泰子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)、野村美知子（アジア学生文化協会留学生日本語コース）の両氏に多大な協力を得た。また印道緑、清地恵美子、戸川さやかの各氏に企画時の補助をお願いした。

このユニット１の原案執筆・検討には中野泰子、二瓶千恵、坂本倫子、石原恵子、戸川さやかの各氏に助力を仰いだ。

日本語教育映画　基礎編　教師用マニュアル
ユニット１
1984年11月15日　発行
企画・編集・発行　国立国語研究所
〒115　東京都北区西が丘3～9～14　電話(30)900—3111
印刷　日本シネセル株式会社
〒107　東京都港区赤坂1～9～15　電話(03)582—2691～4